



MP-A40シリーズ Windows CE向け SDK
アプリケーションプログラマーズガイド

U00138399604

セイコーインスツル株式会社

U00138399600	2016年	8月
U00138399601	2016年	11月
U00138399602	2018年	8月
U00138399603	2019年	2月
U00138399604	2019年	12月

©セイコーインスツル株式会社 2016-2019

無断転載を禁じます。

Bluetooth® は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

Microsoft®及びWindows®は米国Microsoft Corporationの米国、日本及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

本書の内容は、断りなく変更することがあります。

本書及び本書に記載された製品の利用によって発生した
損害及びその回復に要する費用に対し、当社は一切の責任を負いかねます。

本書を第三者に無断で頒布することを禁じます。

はじめに

本書では、セイコーインスツル株式会社（以下、SII）製MP-A40シリーズ用Windows Embedded CE（以下、WinCE）向けSDK（以下、本SDK）について説明します。

対象プリンタについて

本SDKでサポートするプリンタ製品を下記に示します。

プリンタ 製品	通信インターフェース
MP-A40 (Bluetooth搭載モデル)	Bluetooth
	USB
MP-A40 (無線LAN搭載モデル)	無線LAN
	USB

目次

1 章	製品概要	1-1
1.1	機能.....	1-1
1.2	構成.....	1-1
1.2.1	SII プリントクラスライブラリ	1-2
1.2.2	サンプルプログラム	1-2
2 章	製品仕様	2-1
2.1	製品仕様	
2.1.1	動作環境	2-1
2.1.2	動作条件	2-2
2.1.3	注意事項	2-2
3 章	本ライブラリの利用方法	3-1
3.1	提供ファイル.....	3-1
3.2	Microsoft Visual Studio のプロジェクトへの本ライブラリの組み込み	3-2
3.3	WinCE デバイスでの実行条件	3-2
3.4	その他.....	3-2
4 章	本ライブラリの機能	4-1
4.1	本ライブラリの概要.....	4-1
4.2	本ライブラリの形体.....	4-1
4.3	本ライブラリのデータ受信処理と制限事項.....	4-1
4.4	API リファレンス	4-2
4.4.1	インターフェース	4-4
4.4.2	クラス	4-6
4.4.3	列挙型	4-52
4.4.4	例外	4-66
5 章	サンプルプログラム	5-1
5.1	サンプルプログラムの概要.....	5-1
5.2	サンプルプログラムの利用方法.....	5-1
5.3	サンプルプログラムの機能.....	5-2
5.4	注意事項.....	5-2
6 章	免責	6-1

A. 1	文字コード表（文字コードテーブル）	A-1
A. 2	国際文字セット.....	A-11

1.2.1 SIIプリントクラスライブラリ

SIIプリントクラスライブラリ(以下、本ライブラリ)を使用することにより、WinCEアプリケーションは、WinCEデバイスの通信ポート(Bluetooth、USB、またはTCP/IP)を通じて、プリンタに対して印字データやプリンタコマンドを容易に送信することができます。また、プリンタステータスを取得することができます。

本ライブラリでは、下記の機能を提供します。

- プリンタとの接続及び切断
- プリンタへのデータ送信(印字データやプリンタコマンド)
- バーコードの印字、2次元バーコードの印字
- プリンタへのデータファイル送信(印字データやプリンタコマンド)
- プリンタステータスの取得
- プリンタからの各種応答取得
- Bluetooth、またはTCP/IPによるプリンタの探索

1.2.2 サンプルプログラム

本ライブラリを使用したWinCEアプリケーションの実装サンプルとして提供します。

2章 製品仕様

本章では、本ライブラリの製品仕様について説明します。

2.1 製品仕様

2.1.1 動作環境

本ライブラリの動作環境を下記に示します。

項目	仕様
対象OS	Windows CE 5.0 Windows Embedded CE 6.0 Windows Embedded Compact 7 (Windows Mobile 6.1、Windows Mobile 6.5、 Windows Embedded Handheld 6.5を含む)
対象 .NET Framework	.NET Compact Framework 3.5 ^{*1}
サポート言語	日本語 英語
通信ポート	Bluetooth ^{*2} USB ^{*3} TCP/IP ^{*4}
サポート開発言語	.NET Compact Framework を利用可能な開発 言語 Microsoft C# Microsoft Visual Basic

- (注意) *1: ソフトウェアを使用する前にインストールしておく必要があります。
*2: SPP (Serial Port Profile) によりBluetooth接続が確立されている必要があります。
Bluetoothに関係するドライバーはマイクロソフト社のシステム標準ドライバーをご利用ください。
*3: Windows CE 5.xベースのOSのみサポート対象となります。
また、WinCEデバイスがUSBホスト機能をサポートしており、かつ対象OS上にPlatform Builderにて
提供されるUSB Printer class driver (USBPRN.dll) が必要です。
USB Printer class driverは、本ライブラリの対象OS上ではLPTポートとして扱えます。
*4: WinCEデバイスとプリンタが同じネットワークに接続されている必要があります。
プリンタがクライアントモードのときはアクセスポイント経由で、シンプルAPモードのときは
直接接続してください。

2.1.2 動作条件

本ライブラリの動作条件を下記に示します。

本ライブラリの利用時には、予めプリンタの機能設定を下記に示す値に設定してください。

機能設定の詳細については、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

MS	機能	設定	設定内容
1-1	通信選択 (Interface)	0 / 1	0: USBのみ(USB) 1: USB/Wireless ^{*1}
1-2	マークモード選択 (Mark Mode)	0 / 1	0: 有効 (Enable) ^{*2} 1: 無効 (Disable)
1-3	コマンド体系選択 (Command System)	0	ESC/POS
1-4		0	
1-5		0	
2-2	リアルタイムコマンド選択 (Realtime Command)	0	有効 (Enable)
9-1	自動ステータス応答機能選択<ESC/POS> (Auto Status Back<ESC/POS>)	0	有効 (Enable)
9-2	イニシャライズ完了応答選択<ESC/POS> (Init. Response<ESC/POS>)	0	有効 (Enable)

(注意) *1: Bluetoothおよび無線LANインターフェースでの使用時は「USB/Wireless」を選択してください。

*2: マーク紙の頭出しを行う場合は「有効」を選択してください。

2.1.3 注意事項

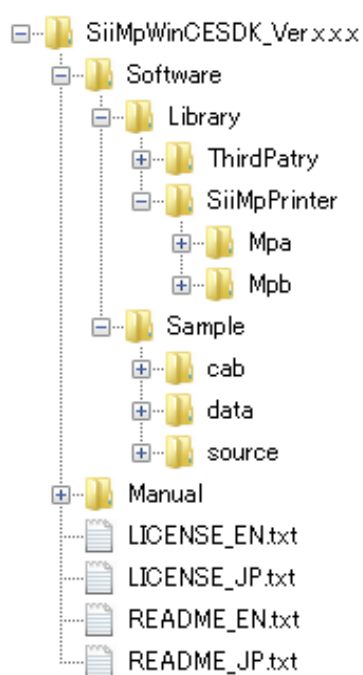
本ライブラリはTCP/IP接続時、プリンタのポートを占有します。そのため、プリンタドライバや他のライブラリと通信ポートの共用はできません。

3章 本ライブラリの利用方法

本章では、本ライブラリの利用方法について説明します。

3.1 提供ファイル

本SDKでは、ライブラリとしてDLLファイルを提供します。本SDKのフォルダ構成を下記に示します。



3.2 Microsoft Visual Studioのプロジェクトへの本ライブラリの組み込み

本ライブラリをMicrosoft Visual Studioのプロジェクトに組み込む手順を説明します。説明はMicrosoft Visual Studio C# 2008を基に記載します。

- (a) Microsoft Visual Studioで任意のプロジェクトを作成してください。
- (b) Microsoft Visual Studioの[プロジェクト] – [参照の追加]を選択してください。
- (c) [参照の追加]ダイアログの[参照]に、[CD-ROM ドライブ]:¥WindowsCE¥Library¥SiiMpPrinter¥Mpx^{*1}のフォルダ下にあるDLLファイルを追加してください。

*1: xはシリーズを示すアルファベット（a または b）が表示されます。

3.3 WinCEデバイスでの実行条件

Microsoft Visual Studioで作成したWinCEアプリケーションをWinCEデバイスで実行する場合は、同じフォルダに下記のファイルを入れて実行してください。

- WinCEアプリケーション（xxxxxx.exe）
- ¥WindowsCE¥Library¥SiiMpPrinter¥Mpxフォルダ下にあるDLLファイル
- ¥WindowsCE¥Library¥ThirdPartyフォルダ下にあるDLLファイル

3.4 その他

開発するプログラムの種類によって、下記のSDKが必要となる場合があります。必要なSDKはMicrosoft社のウェブサイトより入手してください。

- Windows Mobile 5 Pocket PC SDK
- Windows Mobile 6 Standard SDK
- Windows Mobile 6 Professional SDK

4章 本ライブラリの機能

本章では、本ライブラリに実装されている各クラスのAPIについて説明します。

4.1 本ライブラリの概要

本ライブラリは、WinCEアプリケーションに対して、プリンタを利用するための機能を提供します。

4.2 本ライブラリの形体

本ライブラリは、DLLファイル形式です。

WinCEアプリケーションで、本ライブラリを利用する場合、Microsoft Visual Studioのプロジェクトに本ライブラリを組み込んでください。

本ライブラリをMicrosoft Visual Studioのプロジェクトに組み込む方法は『3章 本ライブラリの利用方法』を参照してください。

4.3 本ライブラリのデータ送受信処理と制限事項

本ライブラリは**Open**によるプリンタの利用開始前、SDK内部に送信バッファ用に10MB(10485760バイト)のメモリを確保します。メモリの確保はシステムに依存するので、メモリの確保が出来ない場合はエラーとなります。

本ライブラリは、プリンタからの受信データをSDK内部の受信バッファにバッファリングします。プリンタは状態が変化するたびに自動ステータス応答を返すため、受信データは受信バッファに順次バッファリングされます。バッファリングされる受信データのサイズは最大4096バイトです。プリンタが再接続された場合、接続前にプリンタにバッファリングされていたデータをまとめて受信する場合があります。

受信バッファにバッファリングされた受信データは、**Read**により取得が可能です。**Read**により取得した受信データは、受信バッファから削除されます。

バッファリングされた受信データが4096バイトを超えた場合、古いデータから順次破棄されますので、4096バイトを超えないように**Read**を実行してください。受信データのサイズは、**GetReadSize**で取得が可能です。

各メソッドの詳細は、『4.4 APIリファレンス』を参照してください。

各種応答の詳細は、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

4.4 APIリファレンス

本ライブラリのネームスペースは、SII.SPS.Windows.NetCompactFramework.PrintClassLibrary.MobilePrinterです。SII.SPS.Windows.NetCompactFramework.PrintClassLibrary.MobilePrinterは、下記の機能を提供します。

- インターフェース

名前	説明
StatusCallbackHandler	プリンタステータス変化時の処理を実装するためのインターフェース
DiscoveryHandler	プリンタの探索の終了処理を実装するためのインターフェース

- クラス

名前	説明
PrinterManager	プリンタとの通信、印字を行うためのAPIを提供するクラス
PrinterStatus	プリンタステータスを格納するためのクラス
PrinterDiscovery	プリンタ探索を行うためのクラス
DiscoveredPrinter	プリンタ探索で発見されたプリンタ情報の格納クラス

- 列挙型

名前	説明
PrinterInterface	Openの通信インターフェース指定で利用する列挙型定数
PrinterModel	Openのプリンタモデル指定で利用する列挙型定数
Dithering	RegisterLogo、SendDataFileのディザリングで利用する列挙型定数
PrinterInformation	GetPrinterInformation、GetPrinterInformationNumber、GetPrinterInformationStringのプリンタ情報指定で利用する列挙型定数
TransactionFunction	ControlTransactionの一括処理制御方法指定で利用する列挙型定数
Direction	SelectPageModeの印字方向指定で利用する列挙型定数
Alignment	SetStandardModeAlignmentの位置揃え指定で利用する列挙型定数
CharacterSet	SelectCharacterSet、及びGetCharacterSetの文字セット選択で利用する列挙型定数
InternationalCharacterSet	SelectInternationalCharacterSet、及びGetInternationalCharacterの国際文字セット選択で利用する列挙型定数
CharacterType	SetCharacterFormattingの文字フォント指定で利用する列挙型定数
CharacterScale	SetCharacterFormattingの文字サイズ指定で利用する列挙型定数
Underline	SetCharacterFormattingのアンダーライン指定で利用する列挙型定数
Bold	SetCharacterFormattingの強調印字指定で利用する列挙型定数
Reverse	SetCharacterFormattingの白黒反転印字指定で利用する列挙型定数
Rotate	SetCharacterFormattingの回転印字指定、SetStandardModeBarcodeDirectionの印字方向指定で利用する列挙型定数
TypeBarcode	PrintBarcodeのバーコードの種類指定で利用する列挙型定数
ModuleWidthBarcode	PrintBarcodeのバーコードのモジュール幅または細エレメント指定で利用する列挙型定数
HriPositionBarcode	PrintBarcodeのバーコードのHRI文字指定で利用する列挙型定数

名前	説明
NwRatioBarcode	PrintBarcode のバーコードのN:W比指定で利用する列挙型定数
Type2Dcode	Print2Dcode の2次元バーコードの種類指定で利用する列挙型定数
Mode2Dcode	Print2Dcode の2次元バーコードのモードで利用する列挙型定数
ModuleSize2Dcode	Print2Dcode の2次元バーコードのモジュールサイズ指定で利用する列挙型定数
ErrorCorrect2Dcode	Print2Dcode の2次元バーコードのエラー訂正レベル指定で利用する列挙型定数
LogFileSize	SetLog のログファイルの最大サイズ指定で利用する列挙型定数
ErrorCode	PrinterException で取得できるエラーコードの列挙型定数

- 例外

名前	説明
PrinterException	API呼び出し時にスローされる例外クラス

4.4.1 インターフェース

(1) StatusCallbackHandler

- 概要

プリンタステータスの変化イベントを取得するためのインターフェースです。
下記の機能を提供します。

Public Methods

名前	説明
StatusChanged	プリンタステータス変化時の処理登録

- Public Methods

StatusChanged	プリンタステータス変化時の処理登録
---------------	-------------------

構文 `public void StatusChanged (PrinterStatus status)`

パラメーター *status*
 PrinterStatusクラスのインスタンス

説明 本メソッドは、StartCallbackFunctionによりプリンタステータス変化のコールバックが開始し、プリンタステータスが変化した場合に呼び出されます。

インターフェースのメソッドであるため、実装はありません。プリンタステータス変化のコールバックを受け取るクラスにて、任意の実装を実装してください。

*status*には、変化した時点のプリンタステータスを含んだPrinterStatusクラスのインスタンスを代入します。プリンタステータスは、*status*からPrinterStatusクラスのメソッドにより取得できます。PrinterStatusクラスのメソッドは、『4.4.2(2) PrinterStatus』を参照してください。

(2) DiscoveryHandler

- 概要

プリンタ検索時のイベントを取得するためのインターフェースです。
下記の機能を提供します。

Public Methods

名前	説明
DiscoveryFinished	プリンタ探索の終了処理
DiscoveryCancelled	プリンタ探索の中断処理

- Public Methods

DiscoveryFinished	プリンタ探索の終了処理
--------------------------	--------------------

構文 `public void DiscoveryFinished ()`

説明 本メソッドは、**StartDiscoveryPrinter**による探索が終了した場合に呼び出されます。

インターフェースのメソッドであるため、実装はありません。プリンタ探索の終了通知を受け取るクラスにて、任意の処理を実装してください。

DiscoveryCancelled	プリンタ探索の中断処理
---------------------------	--------------------

構文 `public void DiscoveryCancelled ()`

説明 本メソッドは、**StartDiscoveryPrinter**による探索が中断された場合に呼び出されます。

インターフェースのメソッドであるため、実装はありません。プリンタ探索の中断通知を受け取るクラスにて、任意の処理を実装してください。

4.4.2 クラス

(1) PrinterManager

- 概要

プリンタとの通信、印字を行うためのAPIを提供するクラスです。
下記の機能を提供します。

Public Methods

名前	説明	スタンダード モード ^{*1}	ページ モード ^{*1}
PrinterManager	コンストラクタ	✓	✓
Open	プリンタの利用開始	✓	✓
Close	プリンタの利用終了	✓	✓
SetWriteTimeout	送信タイムアウト時間設定	✓	✓
GetWriteTimeout	送信タイムアウト時間取得	✓	✓
SetResponseTimeout	受信タイムアウト時間設定	✓	✓
GetResponseTimeout	受信タイムアウト時間取得	✓	✓
Write	バイナリデータ送信	✓	✓
Read	受信データの取得	✓	✓
GetReadSize	取得可能な受信データサイズの取得	✓	✓
WriteAndWaitResponse	バイナリデータ送受信	✓	✓
Reset	プリンタのリセット	✓	✓
GetStatus	プリンタステータスの取得	✓	✓
StartCallbackFunction	プリンタステータス変化のコールバック 開始	✓	✓
StopCallbackFunction	プリンタステータス変化のコールバック 終了	✓	✓
RegisterStyleSheet	プリンタへのスタイルシートの登録	✓	✓
DeleteStyleSheet	プリンタ上のスタイルシートの削除	✓	✓
RegisterLogo	プリンタへのロゴの登録	✓	✓
DeleteLogo	プリンタ上のロゴの削除	✓	✓
GetPrinterInformation	プリンタ情報の取得	✓	✓
GetPrinterInformationNumber		✓	✓
GetPrinterInformationString		✓	✓
ControlTransaction	印字データ一括送信の開始・終了	✓	✓
SelectStandardMode	スタンダードモードの開始	-	✓
SelectPageMode	ページモードの開始	✓	-
PrintPageModeData	ページモードデータの印字	-	✓ ^{*2}
SetPageModeVerticalPosition	ページモードの縦方向絶対位置設定	-	✓ ^{*2}
SetStandardModeArea	スタンダードモードの印字領域設定	✓ ^{*3}	-
SetStandardModeAlignment	位置揃え	✓ ^{*3}	-
SetHorizontalPosition	絶対位置設定	✓	✓

名前	説明	スタンダード モード*1	ページ モード*1
SetStandardModeBarcodeDirection	バーコード、2次元バーコードの印字方向の選択	✓*3	-
SetLineSpacing	改行量の設定	✓*4	✓*4
SetCharacterRightSpace	文字の右スペース量の設定	✓*4	✓*4
SelectCharacterSet	文字セット選択	✓	✓
GetCharacterSet	設定されている文字セット取得	✓	✓
SelectInternationalCharacterSet	国際文字セット選択	✓	✓
GetInternationalCharacter	設定されている国際文字セット取得	✓	✓
SetCharacterFormatting	文字修飾	✓	✓
PrintText	テキストデータ送信	✓	✓
PrintLogo	プリンタに登録されたロゴの印字	✓	✓
SendDataFile	ファイルデータ送信	✓	✓
PrintBarcode	バーコードの印字	✓	✓
Print2Dcode	2次元バーコードの印字	✓	✓
PrintPageModeRectangle	ページモードの矩形の描画	-	✓*2
FeedLine	行単位の紙送り	✓	✓
FeedDotLine	ドット単位の紙送り	✓	✓
FeedCutPosition	用紙カット位置までの移動	✓	✓
FeedMarkPosition	マーク紙の頭出し	✓	✓
SetLog	ログ出力設定	✓	✓

*1 ✓：使用可、-：使用不可

*2 本メソッドを使用する場合、事前に**SelectPageMode**を実行し、ページモードを開始してください。

*3 本メソッドを使用する場合、事前に**SelectStandardMode**を実行し、スタンダードモードを開始してください。

*4 スタンダードモードとページモードでそれぞれ独立した設定が可能です。

Public Property

名前	説明	スタンダード モード*1	ページ モード*1
IsOpened	プリンタの利用状態取得	✓	✓

*1 ✓：使用可、-：使用不可

- Public Methods

PrinterManager

コンストラクタ

com.seikoinstruments.sdk.mobileprinter.PrinterManagerクラスのコンストラクタです。

構文 public **PrinterManager**()

例外 **PrinterException**

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

Open

プリンタの利用開始

プリンタの利用を開始します。

構文 public void **Open**(PrinterInterface *prnIf*,
 PrinterModel *prnModel*,
 String *address*,
 Int32 *socketKeepingTime*)

パラメーター *prnIf*

通信インターフェース定数

利用可能な設定は、『4.4.3(1) **PrinterInterface**』を参照してください。

prnModel

プリンタモデル定数

利用可能な設定は、『4.4.3(2) **PrinterModel**』を参照してください。

address

*prnIf*の設定により異なります。

- ・ **PRN_IF_TCP**を指定する場合

*address*には接続するプリンタのIPアドレスを指定してください。

例: "192.168.0.190"

- ・ **PRN_IF_BT**を指定する場合

*address*には接続するプリンタのBluetoothアドレスを指定してください。

例: "00:11:22:AA:BB:CC"

- ・ **PRN_IF_USB**を指定する場合

*address*にはLPT1: ~ LPT9:の範囲で指定してください。

socketKeepingTime

ソケット維持時間(秒)

*prnIf*の設定により異なります。

- ・ **PRN_IF_TCP**を指定する場合

*socketKeepingTime*の有効範囲は60～300です。

60未満の値を指定した場合は60に、300を超える値を指定した場合は300に設定されます。*socketKeepingTime*には、プリンタコマンド「無線LAN通信設定の送信」で取得した受信タイムアウト時間設定と同じ値を指定してください。受信タイムアウト時間設定の初期値は300です。

プリンタコマンドの詳細は、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

- ・ **PRN_IF_BT**を指定する場合

指定した値は無視されます。

- ・ **PRN_IF_USB**を指定する場合

指定した値は無視されます。

例外

PrinterException

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。

詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明

本メソッドは、*prnIf*で指定した通信インターフェースにて、*prnModel*で指定したプリンタに接続します。

本メソッドにより、プリンタステータスのモニタリングを開始します。最新のプリンタステータスは**GetStatus**で取得が可能です。プリンタステータスの変化は、**StatusChanged**、**StartCallbackFunction**、及び**StopCallbackFunction**により、イベントとして通知することが可能です。

注意

プリンタコマンド「自動ステータス送信の有効・無効」や機能設定により、自動ステータス応答を無効にしないでください。プリンタステータスのモニタリングができず、関連する機能が動作しません。自動ステータス応答の詳細や機能設定については『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

TCP/IP接続でのプリンタへのデータ送信後、ソケット維持時間が経過すると本ライブラリ内部の通信ソケットを破棄します。その後、再度、通信ソケットを作成し接続します。そのため、通信ソケット破棄の時点でプリンタが同じネットワーク上の別のホストから接続要求を受けていた場合、プリンタはそちらのホストとの通信を確立するため、再接続に失敗する可能性があります。

プリンタの利用を終了し、プリンタステータスのモニタリングを終了します。

構文 `public void Close()`

例外 **PrinterException**

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明 **ControlTransaction**によって保持している送信データは、破棄されます。

送信タイムアウト時間を設定します。

構文 `public void SetWriteTimeout(Int32 writeTimeout)`

パラメーター *writeTimeout*

送信タイムアウト時間(ミリ秒)

有効範囲は、1000～90000です。

1000未満の値を設定した場合は1000に設定されます。

90000を超える値を指定した場合は90000に設定されます。

本メソッドで設定しない場合、送信タイムアウト時間は、初期値の10000になります。

説明 設定した値は、**GetWriteTimeout**で取得できます。

本メソッドの設定は、下記のメソッドに有効です。

- ・ **Write**
- ・ **WriteAndWaitResponse** (送信処理部分)
- ・ **RegisterLogo**
- ・ **RegisterStyleSheet**
- ・ **ControlTransaction** (*control*で**TRANSACTION_PRINT**選択時)
- ・ **PrintText**
- ・ **SendDataFile**
- ・ **PrintBarcode**
- ・ **Print2Dcode**

送信タイムアウト時間を取得します。

構文 `public Int32 GetWriteTimeout()`

戻り値 送信タイムアウト時間(ミリ秒)

受信タイムアウト時間を設定します。

構文 `public void SetResponseTimeout(Int32 respTimeout)`

パラメーター *respTimeout*

受信タイムアウト時間(ミリ秒)

有効範囲は、1000～90000です。

1000未満の値を設定した場合は1000に設定されます。

90000を超える値を指定した場合は90000に設定されます。

本メソッドで設定しない場合、受信タイムアウト時間は、初期値の10000になります。

説明 設定した値は、**GetResponseTimeout**で取得できます。

本メソッドの設定は、下記のメソッドに有効です。

- **WriteAndWaitResponse**
- **GetPrinterInformation**
- **GetPrinterInformationNumber**
- **GetPrinterInformationString**

受信タイムアウト時間を取得します。

構文 `public Int32 GetResponseTimeout()`

戻り値 受信タイムアウト時間(ミリ秒)

バイナリデータを送信します。

構文 `public void Write(Byte[] binary, Int32 offset)`

パラメーター *binary*

プリンタに送信するバイナリデータ
指定可能なデータサイズは最大16KB(16384バイト)です。

offset

送信するデータの開始位置の指定

例外 **PrinterException**

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明 **ControlTransaction**を使用しない場合、本メソッドの送信タイムアウト時間は、
SetWriteTimeoutで設定した値になります。

送信データには、プリンタコマンド「プリンタの初期化」以外のプリンタを初期化するプリンタコマンドを含めないでください。プリンタの初期化については、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書』を参照してください。

ハードウェアリセットを行う場合は、**Reset**を実行してください。

本メソッドは**Reset**により中断されます。

バッファにバッファリングされた受信データを取得します。

構文 `public Byte[] Read(Int32 bufferSize)`

パラメーター *bufferSize*

受信データサイズ(バイト)
有効範囲は、1～4096です。
4096を超える値を指定した場合、4096に設定されます。
0以下の値を指定した場合、エラーを通知します。

戻り値 受信データ

例外 **PrinterException**

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明 バッファにバッファリングされた受信データを全て取得する場合は、*bufferSize*に**GetReadSize**で取得した値を指定してください。

本メソッドによる受信データの取得後、再度本メソッドを実行すると、バッファから続きの受信データを取得します。

受信データの処理と制限事項については、『4.3 本ライブラリのデータ受信処理と制限事項』を参照してください。

GetReadSize	取得可能な受信データサイズの取得
-------------	------------------

GetReadSize	取得可能な受信データサイズの取得
-------------	------------------

取得可能な受信データサイズを取得します。

構文 `public Int32 GetReadSize()`

戻り値 取得可能な受信データサイズ(バイト)

例外 **PrinterException**

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合PrinterExceptionをスローします。

詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

WriteAndWaitResponse

WriteAndWaitResponse

バイナリデータを送信し、本メソッドが実行された時点からの受信データを取得します。

```
public Byte[] WriteAndWaitResponse(Byte[] sendBinary,  
                                   Int32 bufferSize,  
                                   Boolean respControl,  
                                   Boolean incAsbData)
```

パラメーター *sendBinary*

送信データ

指定可能なデータサイズは最大16KB(16384バイト)です。

bufferSize

受信データの最大サイズ(バイト)

有効範囲は、1～10485760です。

10485760を超える値を指定した場合、10485760に設定されます。

0以下の値を指定した場合、エラーを通知します。

 $respControl$

受信処理の動作選択

True: 何らかのデータを受信するか、タイムアウトになるまで受信を継続します。

False: *bufferSize*で指定したサイズのデータを受信するか、タイムアウトになるまで受信を続けます。

incAsbData

受信データに自動ステータス応答を含むか否か

True: 含む

False: 含まない

戻り値 受信データ

例外 **PrinterException**

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合PrinterExceptionをスローします。

詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明	<p>本メソッドは文字列や容量などの値を応答するプリンタコマンドの送信と、その応答取得に適しています。</p> <p>本メソッドの実行後、次のメソッドを実行しても本メソッドの受信が完了するまでは処理されません。実行応答や進捗応答を取得する場合、本メソッドではなくReadを使用してください。実行応答や進捗応答の詳細は、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。</p> <p>本メソッドの送信タイムアウト時間は、SetWriteTimeoutで設定した値になります。</p> <p>本メソッドの受信タイムアウト時間は、SetResponseTimeoutで設定した値になります。</p> <p>送信データには、プリンタコマンド「プリンタの初期化」以外のプリンタを初期化するプリンタコマンドを含めないでください。プリンタの初期化については、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。</p> <p>ハードウェアリセットを行う場合は、Resetを実行してください。</p> <p>本メソッドはResetにより中断されます。</p>
----	--

Reset	プリンタのリセット
-------	-----------

プリンタをリセットします。

構文	<code>public void Reset()</code>
例外	<p>PrinterException</p> <p>本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合PrinterExceptionをスローします。 詳細は、『4.4.4(1) PrinterException』を参照してください。</p>
説明	<p>以下のメソッド処理中に本メソッドを実行すると、処理が中断されます。以下のメソッドの未送信データ、未受信データは破棄されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Write ・ WriteAndWaitResponse ・ ControlTransaction (<i>control</i>でTRANSACTION_PRINT選択時) ・ PrintText ・ SendDataFile ・ GetPrinterInformation ・ GetPrinterInformationNumber ・ GetPrinterInformationString <p>本メソッド実行中、プリンタステータスはオフラインとなります。</p> <p>本メソッド実行後、数秒経過してからデータ送信のメソッドを実行してください。リセット中にデータ送信を行うと、データ抜けの原因となります。</p> <p>Bluetooth接続で、プリンタがデータを受け付けられない状態で本メソッドを実行した場合、本メソッドは成功しますが、リセットはプリンタが印刷可能状態となるまで実行されません。また、それまでの間データ送信は行えません。</p> <p>本メソッドは、USB接続をサポートしません。</p>

最新のプリンタステータスを取得します。

構文 `public PrinterStatus GetStatus()`

戻り値 プリンタステータスを**PrinterStatus**クラスで返します。
PrinterStatusクラスのメソッドにより、プリンタステータスの内容が取得できます。
PrinterStatusクラスのメソッドは、『4.4.2(2) **PrinterStatus**』を参照してください。

例外 **PrinterException**
本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

プリンタステータスの変化に応じて実行するコールバックを開始します。

構文 `public void StartCallbackFunction(StatusCallbackHandler handler)`

パラメーター *handler*
StatusCallbackHandlerのインスタンス

例外 **PrinterException**
本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明 コールバックで実行する処理は、**StatusChanged**にて登録します。

StartCallbackFunctionで開始されたコールバックを終了します。

構文 `public void StopCallbackFunction()`

例外 **PrinterException**
本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

スタイルシートをプリンタに登録します。

構文 `public void RegisterStyleSheet(String filePath, Int32 regNum)`

パラメーター *filePath*
スタイルシートのファイルパス

regNum
スタイルシート番号
有効範囲は、1～4です。

例外	PrinterException 本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合 PrinterException をスローします。 詳細は、『4.4.4(1) PrinterException 』を参照してください。
説明	最大4シートを登録可能です。 サポートするスタイルシートのファイル拡張子は、.cssです。 登録可能なファイルサイズは、最大1MB(1048576バイト)です。 一つのスタイルシートに登録できるスタイル数は最大64です。 既にスタイルシートが登録されているスタイルシート番号を指定した場合、スタイルシートを上書きします。 登録可能なスタイルシートの詳細は、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』のプリンタコマンド「スタイルシート登録」を参照してください。 本メソッドの送信タイムアウト時間は、 SetWriteTimeout で設定した値になります。

DeleteStyleSheet

プリンタ上のスタイルシートの削除

プリンタに登録されているスタイルシートを削除します。

構文 `public void DeleteStyleSheet(Int32 regNum)`

パラメーター *regNum*
 スタイルシート番号
 有効範囲は、1～4です。

例外 **PrinterException**
 本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
 詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

イメージデータをロゴとしてプリンタに登録します。

構文(a)のメソッドは、ディザリングはディザリング有効に固定されます。

構文(b)のメソッドは、ディザリングを指定できます。

構文 (a) `public void RegisterLogo(String filePath, Int32 regNum)`
 (b) `public void RegisterLogo(String filePath, Int32 regNum, Dithering dithering)`

パラメーター *filePath*
 イメージデータのファイルパス

regNum
 ロゴ番号
 有効範囲は、0～99です。

dithering
 ディザリング
 利用可能な設定は、『4.4.3(3) Dithering』を参照してください。

例外 **PrinterException**
 本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
 詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明 サポートするイメージデータのファイル拡張子は、.bmpです。

ビットマップデータはモノクロ(二値)のみサポートします。
 ビットマップデータを、プリンタで印字可能な形式に変換してプリンタに送信します。
 本メソッドは、十分なメモリが実装されている環境で実行してください。
 ビットマップデータの送信が何らかの理由で中断された場合でも、残りのデータは
 本メソッドで指定したビットマップファイルのファイルサイズまで、ビットマップデータと
 しての処理が継続されます。このような場合は、インターフェースにより下記を実行
 してください。

- ・BluetoothまたはTCP/IPの場合
Resetを実行するか、プリンタを再起動してください。
- ・USBの場合
 プリンタを再起動してください。

登録可能なファイルサイズは、最大1MB(1048576バイト)です。

登録可能な画像サイズは、最大幅8192ドット、最大高さ2304ドットです。

本メソッドで登録したロゴの登録状況は、**GetPrinterInformation**または
GetPrinterInformationStringで、*prnInfo*にGET_NV_MEM_KEYCODE_LISTを指定して実
 行することで確認できます。

既にロゴが登録されているロゴ番号を指定した場合、ロゴを上書きします。

本メソッドの送信タイムアウト時間は、**SetWriteTimeout**で設定した値になります。

プリンタに登録されているロゴを削除します。

構文 `public void DeleteLogo(Int32 regNum)`

パラメーター *regNum*
 ロゴ番号
 有効範囲は、0～99です。

例外 **PrinterException**
 本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
 詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明 本メソッドで削除したロゴの削除状況は、**GetPrinterInformation**または
GetPrinterInformationStringで、*prnInfo*にGET_NV_MEM_KEYCODE_LISTを指定して実行することで確認できます。

GetPrinterInformation
GetPrinterInformationNumber
GetPrinterInformationString

プリンタ情報の取得

プリンタ情報を取得します。

構文 (a) `public Byte[] GetPrinterInformation(PrinterInformation prnInfo)`
 (b) `public Int32 GetPrinterInformationNumber(PrinterInformation prnInfo)`
 (c) `public String GetPrinterInformationString(PrinterInformation prnInfo)`

パラメーター *prnInfo*
 取得するプリンタ情報の種類
 利用可能な設定、および取得できるプリンタ情報の一覧は、
 『4.4.3(4) **PrinterInformation**』を参照してください。
 取得できるプリンタ情報の詳細については、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

戻り値 プリンタ情報

例外 **PrinterException**
 本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
 詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明 *prnInfo*の指定に基づき、プリンタ情報を応答させるプリンタコマンドをプリンタへ送信し、プリンタからの応答データを応答識別子に基づき解析し、数値配列、数値、または文字列で返します。
 全ての**PrinterInformation**において構文(a)を用いて数値配列でプリンタ情報を取得できます。

次のPrinterInformationにおいて構文(b)を用いて数値でプリンタ情報を取得できます。

- ・ GET_NV_MEM_CAP
- ・ GET_NV_MEM_REM_CAP
- ・ GET_REM_USER_MEM_CAP
- ・ GET_REM_USER_MEM_CAP_DEFRAG
- ・ GET_PRN_ID_MODEL
- ・ GET_PRN_ID_TYPE
- ・ GET_PRN_ID_ROM_VER
- ・ GET_PRN_ID_FIRM_CHECKSUM_BOOT
- ・ GET_PRN_ID_FIRM_CHECKSUM_MAIN
- ・ GET_PRN_ID_FIRM_CHECKSUM
- ・ GET_MAINT_NUM_FEED_LINE
- ・ GET_MAINT_NUM_HEAD_ACTIVE
- ・ GET_MAINT_DRIVE_TIME
- ・ GET_MAINT_NUM_FEED_LINE_INTEGRATION
- ・ GET_MAINT_NUM_HEAD_ACTIVE_INTEGRATION
- ・ GET_MAINT_DRIVE_TIME_INTEGRATION
- ・ GET_HFONT_24_CHECKSUM
- ・ GET_HFONT_16_CHECKSUM
- ・ GET_FFONT_CHECKSUM
- ・ GET_FFONT_DATA_SIZE

次のPrinterInformationにおいて構文(c)を用いて文字列でプリンタ情報を取得できます。

- ・ GET_NV_MEM_KEYCODE_LIST
- ・ GET_PRN_ID_FIRM_VER_MAIN
- ・ GET_PRN_ID_MFR
- ・ GET_PRN_ID_MODEL_NAME
- ・ GET_PRN_ID_FIRM_VER_BOOT
- ・ GET_HFONT_24_ID
- ・ GET_HFONT_24_INT_CHAR
- ・ GET_HFONT_16_ID
- ・ GET_HFONT_16_INT_CHAR
- ・ GET_FFONT_LANG
- ・ GET_FFONT_STANDARD
- ・ GET_FFONT_COMPANY

本メソッドの受信タイムアウト時間は、SetResponseTimeoutで設定した値になります。

本メソッドはResetにより中断されます。

一括処理対象メソッドの送信データをバッファリングし、送信バッファ内のデータをプリンタへ送信します。

構文 `public void ControlTransaction(TransactionFunction control)`

パラメーター *control*

一括処理の動作選択

利用可能な設定は、『4.4.3(5) TransactionFunction』を参照してください。

例外 **PrinterException**

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。

詳細は、『4.4.4(1) PrinterException』を参照してください。

説明 一括処理対象メソッドは以下の通りです。

- ・ **Write**
- ・ **SelectStandardMode**
- ・ **SelectPageMode**
- ・ **PrintPageModeData**
- ・ **SetPageModeVerticalPosition**
- ・ **SetStandardModeArea**
- ・ **SetStandardModeAlignment**
- ・ **SetHorizontalPosition**
- ・ **SetStandardModeBarcodeDirection**
- ・ **SetLineSpacing**
- ・ **SetCharacterRightSpace**
- ・ **SetCharacterFormatting**
- ・ **PrintText**
- ・ **PrintLogo**
- ・ **SendDataFile**
- ・ **PrintBarcode**
- ・ **Print2Dcode**
- ・ **PrintPageModeRectangle**
- ・ **FeedLine**
- ・ **FeedDotLine**
- ・ **FeedCutPosition**
- ・ **FeedMarkPosition**

*control*により、一括処理対象メソッドの送信データのバッファリングの開始、終了を指定します。

・ バッファリングの開始

本メソッドの`control`を`TRANSACTION_START`で実行すると、一括処理対象メソッドの送信データのバッファリングを開始します。

バッファリング中に実行した一括処理対象メソッドの送信データは、プリンタへ送信せずに送信バッファにバッファリングします。

バッファリングできる送信データのサイズは最大10MB(10485760バイト)です。

バッファリングされた送信データが最大サイズを超える場合、超えた時点の一括処理対象メソッドがエラーとなります。エラーとなった場合は、エラー前までの送信データが保持されますので、「・バッファリングの終了」で一括処理を終了してください。

バッファリング中に実行した一括処理対象外のメソッドは、即時に実行されます。

・ バッファリングの終了

バッファリング中に本メソッドの`control`を`TRANSACTION_PRINT`で実行すると、一括処理対象メソッドの送信データのバッファリングを終了し、送信バッファ内のデータをプリンタへ送信します。

バッファリング中に本メソッドの`control`を`TRANSACTION_CLEAR`で実行すると、バッファリングを中止し、送信バッファ内のデータを破棄します。

バッファリングを開始せずに本メソッドの`control`を`TRANSACTION_PRINT`、`TRANSACTION_CLEAR`で実行した場合、エラーとなります。

バッファリング中に本メソッドの`control`を`TRANSACTION_START`で実行すると、送信バッファ内のデータを破棄し、バッファリングは継続します。

送信バッファ内にデータがない状態で、本メソッドの`control`を`TRANSACTION_PRINT`で実行すると、プリンタへの送信は行わず、バッファリングを終了します。

本メソッドの`control`を`TRANSACTION_PRINT`で実行中に、別スレッドから本メソッドの`control`を`TRANSACTION_START`で実行しても、本メソッドの`control`を`TRANSACTION_PRINT`で実行した送信は継続され、別スレッドから本メソッドの`control`を`TRANSACTION_START`で実行して新たにバッファリングを開始します。

バッファリングされた送信データを`TRANSACTION_PRINT`で送信している場合の送信タイムアウト時間は、`SetWriteTimeout`で設定した値になります。

`TRANSACTION_PRINT`でデータの送信中にエラーとなった場合、未送信の送信データは破棄されます。

`TRANSACTION_PRINT`でデータの送信中に`Reset`が実行された場合、送信は中断され未送信の送信データは破棄されます。

SelectStandardMode

スタンダードモードの開始

スタンダードモードを開始します。

構文 `public void SelectStandardMode()`

例外 **PrinterException**

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。

詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明 **Open**が実行された直後はスタンダードモードです。

SelectPageModeによりページモードが開始されていた場合、ページモードを終了し、プリンタのページモードデータを破棄します。

SelectPageMode

ページモードの開始

ページモードを開始し、印字領域と印字方向を指定します。

構文

```
public void SelectPageMode(Int32 startX,  
                             Int32 startY,  
                             Int32 width,  
                             Int32 height,  
                             Direction direction)
```

パラメーター *startX*
横方向始点(ドット)
有効範囲は、0～2399です。

startY
縦方向始点(ドット)
有効範囲は、0～2399です。

width
印字領域幅(ドット)
有効範囲は、1～2400です。

height
印字領域高さ(ドット)
有効範囲は、1～2400です。

direction
印字方向
利用可能な設定は、『4.4.3(6) **Direction**』を参照してください。

例外 **PrinterException**
本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明 *startX*が印字幅を超える場合、本メソッドによる印字領域の設定は無効となります。
(*startX* + *width*)が印字幅を超える場合、*startX*は指定した値に設定され、*width*は
(印字幅 - *startX*)に設定されます。
(*startY* + *height*)が2400以上の場合、*startY*は指定した値に設定され、*height*は
(2400 - *startY*)に設定されます。
印字幅は機能設定により指定が可能です。印字幅と機能設定の詳細は『MP-A40シリーズ
サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

指定した印字領域内において、**SetHorizontalPosition**、及び**SetPageModeVerticalPosition**により
キャラクタ、イメージ、バーコード、2次元バーコードを任意の印字位置に配置し、ページ
モードデータを構成してください。

SelectStandardModelによりページモードが中断された場合は、ページモードのデータは破棄
されます。

プリンタが初期化された場合、スタンダードモードに戻ります。

プリンタの初期化については、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

PrintPageModeData

ページモードデータの印字

ページモードデータを印字します。

構文 `public void PrintPageModeData()`

例外 **PrinterException**

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。

詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明 本メソッドは、**SelectPageMode**によりページモードを開始し、印字領域内にページモードデータを構成した後、実行してください。

本メソッドは、スタンダードモードでは無視されます。

SetPageModeVerticalPosition

ページモードの縦方向絶対位置指定

ページモードの印字領域内で、印字データの縦方向の絶対位置を指定します。

構文 `public void SetPageModeVerticalPosition(Int32 verticalPosition)`

パラメーター *verticalPosition*

縦方向のデータ展開開始位置(ドット)

有効範囲は、0～2399です。

例外 **PrinterException**

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。

詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明 始点は、**SelectPageMode**の*direction*(印字方向)設定により変わります。印字方向と始点については、『4.4.3(6) **Direction**』を参照してください。

本メソッドの設定は、スタンダードモードでは無効です。

印字領域を超える指定は無視されます。

プリンタが初期化された場合、本メソッドの設定は無効になります。

プリンタの初期化については、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

スタンダードモードの印字領域を設定します。

構文 `public void SetStandardModeArea(Int32 leftMargin, Int32 prnAreaWidth)`

パラメーター *leftMargin*
 左マージン位置(ドット)
 有効範囲は、0～831です。

prnAreaWidth
 印字領域幅(ドット)
 有効範囲は、1～832です。

例外 **PrinterException**
 本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
 詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明 左マージンと印字領域幅の関係を図 4-1に示します。印字データは、網掛けで示す印字領域に展開されます。

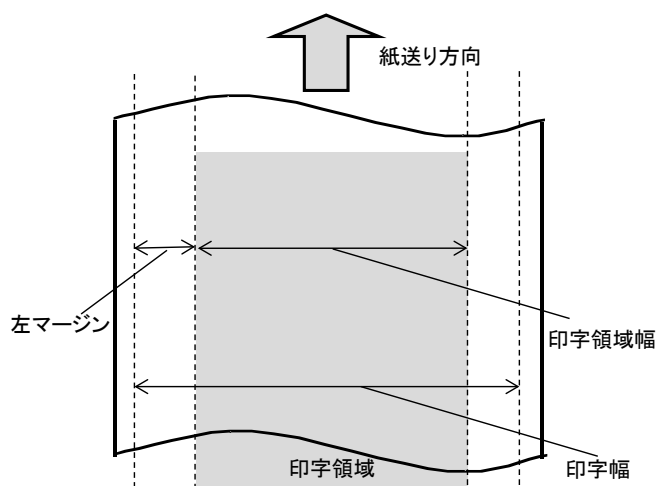


図 4-1

本メソッドの設定は、ページモードでは無効です。本メソッドをページモードで実行した場合、設定はスタンダードモード開始後の印字に反映されます。

プリンタに印字データが残っていると、本メソッドは実行されません。印字を全て終わらせてから本メソッドを実行してください。

*leftMargin*に印字幅を超える値を指定した場合、印字幅が設定されます。*prnAreaWidth*に印字幅を超える値を指定した場合、印字幅と左マージンの差が設定されます。印字幅は機能設定により指定が可能です。印字幅と機能設定の詳細は『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

プリンタが初期化された場合、*leftMargin*は0、*prnAreaWidth*は印字幅に設定されます。プリンタの初期化については、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

スタンダードモードの位置揃えを設定します。

構文 `public void SetStandardModeAlignment(Alignment align)`

パラメーター *align*
 位置揃え
 利用可能な設定は、『4.4.3(7) Alignment』を参照してください。

例外 **PrinterException**
 本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
 詳細は、『4.4.4(1) PrinterException』を参照してください。

説明 **SetStandardModeArea**で印字領域を設定している場合、設定している印字領域内で位置を揃えます。

本メソッドの設定は、ページモードでは無効です。本メソッドをページモードで実行した場合、設定はスタンダードモード開始後の印字に反映されます。

プリンタに印字データが残っていると、本メソッドは実行されません。印字を全て終わらせてから本メソッドを実行してください。

プリンタが初期化された場合、本メソッドのパラメーターは初期値に設定されます。
 プリンタの初期化については、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

横方向の絶対位置を指定します。

構文 `public void SetHorizontalPosition(Int32 horizontalPosition)`

パラメーター *horizontalPosition*
 横方向の印字開始位置(ドット)
 有効範囲は、0～2399です。

例外 **PrinterException**
 本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
 詳細は、『4.4.4(1) PrinterException』を参照してください。

説明 スタンダードモードの場合、**SetStandardModeArea**で設定した左マージン位置を基準とします。

ページモードの場合、**SelectPageMode**の*direction*で設定する印字方向により始点が変わります。印字方向と始点については、『4.4.3(6) Direction』を参照してください。

SetStandardModeArea、**SelectPageMode**で設定した印字領域を超える指定は無視されます。

プリンタが初期化された場合、本メソッドの設定は無効になります。
 プリンタの初期化については、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

スタンダードモードでのバーコード、2次元バーコードの印字方向を設定します。

構文 `public void SetStandardModeBarcodeDirection(Rotate rotate)`

パラメーター *rotate*

印字方向

ROTATE_90_TO_RIGHT、**ROTATE_90_TO_LEFT**を指定した場合、印字可能なバーコード、2次元バーコードの幅は最大300mmです。300mmを超える場合、バーコード、2次元バーコードは印字されません。

利用可能な設定は、『4.4.3(15) Rotate』を参照してください。

例外 **PrinterException**

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。

詳細は、『4.4.4(1) PrinterException』を参照してください。

説明

本メソッドはスタンダードモードでのみ利用が可能です。本メソッドをページモードで実行した場合、設定はスタンダードモード開始後の印字に反映されます。

本メソッドを使用する場合、事前に**SelectStandardMode**を実行し、スタンダードモードを選択してください。

PrintBarcode、または**Print2Dcode**を実行すると、本メソッドの設定は、初期値に戻ります。

プリンタが初期化された場合、本メソッドのパラメーターは初期値に設定されます。

プリンタの初期化については、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

注意

SetCharacterFormattingの*rotate*によってバーコード、2次元バーコードの印字位置と向きが変わる場合があります。印字位置と向きについては、『4.4.3(15) Rotate』を参照してください。

改行量を設定します。

構文 `public void SetLineSpacing(Int32 lineSpacing)`

パラメーター *lineSpacing*

改行量(ドット)

有効範囲は、0～255です。

例外

PrinterException

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。

詳細は、『4.4.4(1) PrinterException』を参照してください。

説明

スタンダードモードとページモードにそれぞれ独立した改行量の設定が可能です。

プリンタが初期化された場合、*lineSpacing*は34に設定されます。

プリンタの初期化については、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

文字の右スペース量を設定します。

構文 `public void SetCharacterRightSpace(Int32 space)`

パラメーター *space*
 右スペース量(ドット)
 有効範囲は、0～255です。

例外 **PrinterException**
 本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
 詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明 スタANDARDモードとページモードにそれぞれ独立した右スペース量の設定が可能です。
 半角文字及び全角文字に有効です。全角文字の場合、左スペースは0に設定されます。
 プリンタが初期化された場合、*space*は0に設定されます。
 プリンタの初期化については、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

文字セットを選択します。

構文 `public void SelectCharacterSet(CharacterSet charSet)`

パラメーター *charSet*
 文字セット
 利用可能な選択は、『4.4.3(8) **CharacterSet**』を参照してください。

例外 **PrinterException**
 本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
 詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明 文字セットの初期値は、WinCEデバイスの言語設定により下記の通りです。
 日本語の場合 **CODEPAGE_KATAKANA**
 日本語以外の場合 **CODEPAGE_1252**
 本メソッドの実行後、**Reset**の実行、及びプリンタが初期化されても本メソッドの設定は有効です。
 プリンタの初期化については、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

設定されている文字セットを取得します。

構文 `public CharacterSet GetCharacterSet()`

戻り値 文字セット

説明 取得可能な設定は、『4.4.3(8) **CharacterSet**』を参照してください。

国際文字セットを選択します。

構文 `public void SelectInternationalCharacterSet(InternationalCharacterSet intCharSet)`

パラメーター *intCharSet*

国際文字セット

利用可能な選択は、『4.4.3(9) **InternationalCharacterSet**』を参照してください。

例外 **PrinterException**

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。

詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明 国際文字セットの初期値は、WinCEデバイスの言語設定により下記の通りです。

日本語の場合 **INT_CHAR_SET_JAPAN**

日本語以外の場合 **INT_CHAR_SET_USA**

本メソッドの実行後、**Reset**の実行、及びプリンタが初期化されても本メソッドの設定は有効です。プリンタの初期化については、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

設定されている国際文字セットを取得します。

構文 `public InternationalCharacterSet GetInternationalCharacter()`

戻り値 国際文字セット

説明 取得可能な設定は、『4.4.3(9) **InternationalCharacterSet**』を参照してください。

文字修飾を設定します。

```
構文      public void SetCharacterFormatting(CharacterType type,
                                           CharacterScale verticalScale,
                                           CharacterScale horizontalScale,
                                           Underline underline,
                                           Bold bold,
                                           Reverse reverse,
                                           Rotate rotate)
```

パラメーター *type*

文字フォント

利用可能な設定は、『4.4.3(10) **CharacterType**』を参照してください。

verticalScale

文字サイズ(縦方向)

利用可能な設定は、『4.4.3(11) **CharacterScale**』を参照してください。

horizontalScale

文字サイズ(横方向)

利用可能な設定は、『4.4.3(11) **CharacterScale**』を参照してください。

underline

アンダーライン

利用可能な設定は、『4.4.3(12) **Underline**』を参照してください。

bold

強調印字

利用可能な設定は、『4.4.3(13) **Bold**』を参照してください。

reverse

白黒反転印字

利用可能な設定は、『4.4.3(14) **Reverse**』を参照してください。

rotate

回転印字

ページモードでは、設定は無効です。設定した場合、スタンダードモード開始後の印字に反映されます。

スタンダードモードの場合、プリンタに印字データが残っていると、本メソッドは実行されません。印字を全て終わらせてから本メソッドを実行してください。

スタンダードモードでROTATE_90_TO_RIGHT、ROTATE_90_TO_LEFTを指定した場合、下記の動作となります。

- ・アンダーライン印字は行われません。
- ・*verticalScale*と*horizontalScale*の縦横の倍率は逆になります。

*rotate*の指定は、バーコード、2次元バーコードの印字位置と向きに影響する場合があります。

利用可能な設定、及びバーコード、2次元バーコードの印字位置と向きについては、『4.4.3(15) **Rotate**』を参照してください。

例外	PrinterException 本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合 PrinterException をスローします。 詳細は、『4.4.4(1) PrinterException 』を参照してください。
説明	プリンタが初期化された場合、本メソッドのパラメーターは初期値に設定されます。 プリンタの初期化については、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

PrintText

テキストデータ送信

テキストデータを送信します。

構文 `public void PrintText(String text)`

パラメーター *text*
 プリンタに送信するテキストデータ

例外 **PrinterException**
 本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
 詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明 本メソッドは、*text*で指定したテキストデータを、**SelectCharacterSet**で指定した文字セット設定を基に、プリンタが認識可能なテキストデータへエンコードを行った後、プリンタへ送信します。

送信データにヘッダとしてプリンタコマンド「文字コードテーブルの選択」「国際文字の選択」「漢字コード体系の選択」「漢字モードの解除」を付加します。

プリンタコマンド「文字コードテーブルの選択」及び「国際文字の選択」は、**SelectCharacterSet**と**SelectInternationalCharacterSet**の設定に基づき送信されます。

プリンタコマンド「漢字コード体系の選択」は、**SelectInternationalCharacterSet**の設定に基づき、下記の漢字コード体系が選択されます。

SelectInternationalCharacterSetが`INT_CHAR_SET_JAPAN`の場合: Shift-JIS

SelectInternationalCharacterSetが`INT_CHAR_SET_JAPAN`以外の場合: JIS

プリンタコマンドの詳細は、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

本メソッドではテキストデータの最後に改行コードは付加しません。

指定可能なデータサイズは最大16KB(16384バイト)です。

ControlTransactionを使用しない場合、本メソッドの送信タイムアウト時間は、**SetWriteTimeout**で設定した値になります。

本メソッドは**Reset**により中断されます。

プリンタに登録したロゴを印字します。

構文 `public void PrintLogo(Int32 regNum)`

パラメーター *regNum*
 ロゴ番号
 有効範囲は、0～99です。

例外 **PrinterException**
 本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
 詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明 登録は**RegisterLogo**により行います。

 指定された*regNum*にロゴが登録されていない場合、無視されます。

プリンタにファイルデータを送信します。

構文(a)のメソッドは、ディザリングはディザリング有効に固定されます。

構文(b)のメソッドは、ディザリングを指定できます。

構文 (a) `public void SendDataFile(String filePath)`

 (b) `public void SendDataFile(String filePath, Dithering dithering)`

パラメーター *filePath*
 プリンタに送信するファイルのパス

 dithering
 ディザリング
 *filePath*で指定されたファイルの拡張子が**.bmp**の場合に有効です。
 利用可能な設定は、『4.4.3(3) **Dithering**』を参照してください。

例外 **PrinterException**
 本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
 詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明 指定したファイルの拡張子に応じて、下記の処理を行います。

- ・ ファイル拡張子が**.bmp**の場合
 - ビットマップデータはモノクロ(二値)のみサポートします。
 - ビットマップデータを、プリンタで印字可能な形式に変換してプリンタに送信します。
 - 本メソッドは、十分なメモリが実装されている環境で実行してください。
 - ビットマップデータの送信が何らかの理由で中断された場合でも、残りのデータは本メソッドで指定したビットマップファイルのファイルサイズまで、ビットマップデータとしての処理が継続されます。このような場合は、インターフェースにより下記を実行してください。

- ・BluetoothまたはTCP/IPの場合

Resetを実行するか、プリンタを再起動してください。

- ・USBの場合

プリンタを再起動してください。

- ・ファイル拡張子が.txtの場合

テキストデータのフォーマットはUTF-8をサポートします。

テキストデータを、**SelectCharacterSet**で指定した文字セット設定を基に、プリンタが認識可能なテキストデータへエンコードを行った後、プリンタへ送信します。

送信データにヘッダとしてプリンタコマンド「文字コードテーブルの選択」「国際文字の選択」「漢字コード体系の選択」「漢字モードの解除」を付加します。

プリンタコマンド「文字コードテーブルの選択」及び「国際文字の選択」は、

SelectCharacterSetと**SelectInternationalCharacterSet**の設定に基づき送信されます。

プリンタコマンド「漢字コード体系の選択」は、**SelectInternationalCharacterSet**の設定に基づき、下記の漢字コード体系が選択されます。

SelectInternationalCharacterSetが**INT_CHAR_SET_JAPAN**の場合: Shift-JIS

SelectInternationalCharacterSetが**INT_CHAR_SET_JAPAN**以外の場合: JIS

プリンタコマンドの詳細は、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

本メソッドではテキストデータの最後に改行コードは付加しません。

- ・ファイル拡張子が.bin、.datの場合

無変換のままプリンタに送信します。

- ・ファイル拡張子が.htm、.htmlの場合

無変換のままプリンタに送信します。

ファイルデータの終わりは、HTML終了タグを必ず指定してください。

指定可能なファイルサイズは、最大1MB(1048576バイト)です。

ControlTransactionを使用しない場合、本メソッドの送信タイムアウト時間は、**SetWriteTimeout**で設定した値になります。

送信データには、プリンタコマンド「プリンタの初期化」以外のプリンタを初期化するプリンタコマンドを含めないでください。プリンタの初期化については、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

ハードウェアリセットを行う場合は、**Reset**を実行してください。

本メソッドは**Reset**により中断されます。

PrintBarcode

バーコードの印字

バーコードを印字します。

構文

```
(a) public void PrintBarcode(TypeBarcode type,
                               String text,
                               ModuleWidthBarcode moduleWidth,
                               Int32 moduleHeight,
                               HriPositionBarcode hri,
                               NwRatioBarcode nwRatio)
```

```
(b) public void PrintBarcode(TypeBarcode type,
    Byte[] binary,
    ModuleWidthBarcode moduleWidth,
    Int32 moduleHeight,
    HriPositionBarcode hri,
    NwRatioBarcode nwRatio)
```

パラメーター *type*

バーコードの種類

利用可能な設定は、『4.4.3(16) **TypeBarcode**』を参照してください。

(a) *text*

バーコードのテキストデータ

(b) *binary*

バーコードのバイナリデータ

text、*binary*で利用可能な値を下記に示します。

バーコードの種類	データサイズ	入力可能なバーコードデータ	
UPC-A	11 ～ 12バイト	'0' ～ '9'	(0x30 ～ 0x39)
UPC-E	11 ～ 12バイト	'0' ～ '9'	(0x30 ～ 0x39)
JAN13(EAN13)	12 ～ 13バイト	'0' ～ '9'	(0x30 ～ 0x39)
JAN8(EAN8)	7 ～ 8バイト	'0' ～ '9'	(0x30 ～ 0x39)
CODE39	1 ～ 150バイト	' '	(0x20)
		'\$'	(0x24)
		'%'	(0x25)
		'+'	(0x2B)
		'-'	(0x2D)
		'.'	(0x2E)
		'/'	(0x2F)
		'0' ～ '9'	(0x30 ～ 0x39)
		'A' ～ 'Z'	(0x41 ～ 0x54)
ITF	2 ～ 150バイト (ただし偶数個)	'0' ～ '9'	(0x30 ～ 0x39)
CODABAR	1 ～ 150バイト	'\$'	(0x24)
		'+'	(0x2B)
		'-'	(0x2D)
		'.'	(0x2E)
		'/'	(0x2F)
		'0' ～ '9'	(0x30 ～ 0x39)
		':'	(0x3A)
		'A' ～ 'D'	(0x41 ～ 0x44)
CODE93	1 ～ 150バイト		(0x00 ～ 0x7F)
CODE128	2 ～ 150バイト		(0x00 ～ 0x7F) ^{*1}
JAN13アドオン2(EAN13アドオン2)	14 ～ 15バイト	'0' ～ '9'	(0x30 ～ 0x39)

nwRatio

バーコードのNW比

利用可能な設定は、*type*の設定により異なります。

詳細は、『4.4.3(19) **NwRatioBarcode**』を参照してください。

例外

PrinterException

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。

詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明

スタンダードモードの場合、プリンタに印字データが残っていると、本メソッドは実行されません。印字を全て終わらせてから本メソッドを実行してください。

印字領域を超えた場合は、バーコードは印字されません。

本メソッドは、構文(a)の*text*で指定したテキストデータを、プリンタが認識可能なテキストデータにエンコードしてプリンタに送信します。

構文(b)の*binary*で指定したバイナリデータは、そのままプリンタに送信します。

CODE128で指定する特殊コードを下記に示します。

入力データ		コードセット毎の特殊コード		
		CODE A	CODE B	CODE C
'S'	(0x7B, 0x53)	SHIFT	SHIFT	SHIFT
'{A'	(0x7B, 0x41)	-	CODE A	CODE A
'{B'	(0x7B, 0x42)	CODE B	-	CODE B
'{C'	(0x7B, 0x43)	CODE C	CODE C	-
'{1'	(0x7B, 0x31)	FNC 1	FNC 1	FNC 1
'{2'	(0x7B, 0x32)	FNC 2	FNC 2	FNC 2
'{3'	(0x7B, 0x33)	FNC 3	FNC 3	FNC 3
'{4'	(0x7B, 0x34)	FNC 4	FNC 4	FNC 4
'{'	(0x7B, 0x7B)	'{'	'{'	-

下記のバーコードのチェックデジットは自動計算されます。

- ・ UPC-A
- ・ UPC-E
- ・ JAN13(EAN13)
- ・ JAN8(EAN8)
- ・ JAN13アドオン2(EAN13アドオン2)
- ・ JAN13アドオン5(EAN13アドオン5)
- ・ GS1 Databar Omni-directional
- ・ GS1 Databar Truncated
- ・ GS1 Databar Limited

下記のバーコードでチェックデジットを含むデータを指定した場合、チェックデジットデータは無視され、プリンタ側で再計算します。

- ・ UPC-A
- ・ UPC-E
- ・ JAN13(EAN)
- ・ JAN8(EAN)

CODE39のスタートコード及びストップコード(*)は自動で付加されますので指定する必要はありません。

ITFのバーコードデータに奇数個のデータを指定した場合、最後のデータが切り捨てられます。

CODABARのバーコードデータにおいて、'A'~'D'はスタートコード及びストップコードとして入力してください。

GS1 Databar Expandedのバーコードデータにおいて、'{'は、FUNC1を指定する場合にのみ使用してください。FUNC1を指定する場合、'{'(0x7B, 0x31)を入力します。

text、*binary*、*moduleWidth*、*moduleHeight*、*nwRatio*のいずれか一つでも、*type*で指定したバーコード種類に対応する値以外を設定した場合、エラーになります。

ControlTransactionを使用しない場合、本メソッドの送信タイムアウト時間は、**SetWriteTimeout**で設定した値になります。

Print2Dcode

2次元バーコードの印字

2次元バーコードを印字します。

構文

- (a) public void **Print2Dcode**(Type2Dcode *type*,
String *text*,
Mode2Dcode *mode*,
ModuleSize2Dcode *moduleSize*,
Int32 *moduleHeight*,
Int32 *column*,
Int32 *row*,
ErrorCorrect2Dcode *errorCorrect*)
- (b) public void **Print2Dcode**(Type2Dcode *type*,
Byte[] *binary*,
Mode2Dcode *mode*,
ModuleSize2Dcode *moduleSize*,
Int32 *moduleHeight*,
Int32 *column*,
Int32 *row*,
ErrorCorrect2Dcode *errorCorrect*)

パラメーター *type*

2次元バーコードの種類

利用可能な設定は、『4.4.3(20) **Type2Dcode**』を参照してください。

(a) *text*

バーコードのテキストデータ

(b) *binary*

バーコードのバイナリデータ

mode

2次元バーコードのモード

利用可能な設定は、*type*の設定により異なります。

詳細は、『4.4.3(21) Mode2Dcode』を参照してください。

MODE_2DCODE_MAXI_CODE_2を選択する場合、*text*、または*binary*の先頭にサービスクラス(3桁)、国コード(3桁)、郵便番号(9桁)のデータをそれぞれ付加してください。

MODE_2DCODE_MAXI_CODE_3を選択する場合、*text*、または*binary*の先頭にサービスクラス(3桁)、国コード(3桁)、郵便番号(6桁)のデータをそれぞれ付加してください。

moduleSize

2次元バーコードのモジュールサイズ

利用可能な設定は、*type*の設定により異なります。

詳細は、『4.4.3(22) ModuleSize2Dcode』を参照してください。

moduleHeight

2次元バーコードのモジュール高さ(ドット)

PDF417、及びGS1 Databar Stacked Omni-directionalで有効です。

それ以外の2次元バーコード種類を使用する場合は、0を指定してください。

2次元バーコード種類	moduleHeight	
	PDF段高さ	1段の高さ
PDF417	2 ~ 127	-
GS1 Databar Stacked Omni-directional	-	33 ~ 255

column

2次元バーコードのカラム数

PDF417、及びGS1 Databar Expanded Stackedで有効です。

それ以外の2次元バーコード種類を使用する場合は、0を指定してください。

2次元バーコード種類	column	
	データ領域のカラム数	1行のセグメント数 ^{*1}
PDF417	0 ^{*2} 、1 ~ 30	-
GS1 Databar Expanded Stacked	-	2 ~ 20

*1: 1行のセグメント数には偶数値を指定してください。

*2: 0を指定した場合、カラム数は自動となります。

row

2次元バーコードの段数

PDF417のみで有効です。

それ以外の2次元バーコード種類を使用する場合は、0を指定してください。

2次元バーコード種類	row
PDF417	0 ^{*1} 、3 ~ 90

*1: 0を指定した場合、段数は自動となります。

errorCorrect

2次元バーコードのエラー訂正レベル

利用可能な設定は、*type*の設定により異なります。

詳細は、『4.4.3(23) **ErrorCorrect2Dcode**』を参照してください。

例外

PrinterException

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。

詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明

スタンダードモードの場合、プリンタに印字データが残っていると、本メソッドは実行されません。印字を全て終わらせてから本メソッドを実行してください。

本メソッドは、構文(a)の*text*で指定したテキストデータを、プリンタが認識可能なテキストデータにエンコードしてプリンタに送信します。

*text*には、*type*で指定する2次元バーコード種類の規格に従い、対応する文字データをASCII形式で入力してください。

構文(b)の*binary*で指定したバイナリデータは、そのままプリンタに送信します。

*binary*には、*type*で指定する2次元バーコード種類の規格に従い、対応する文字データをASCII形式の文字コードで入力してください。

text、*binary*、*mode*、*moduleSize*、*moduleHeight*、*column*、*errorCorrect*のいずれか一つでも、*type*で指定した2次元バーコード種類に対応する値以外を設定した場合、エラーになります。

2次元バーコードの幅が、印字領域幅を超える場合、本メソッドは無視されます。

ControlTransactionを使用しない場合、本メソッドの送信タイムアウト時間は、**SetWriteTimeout**で設定した値になります。

PrintPageModeRectangle

ページモードの矩形の描画

ページモードで矩形を描画します。

構文

```
public void PrintPageModeRectangle(Int32 startX,  
                                     Int32 startY,  
                                     Int32 width,  
                                     Int32 height,  
                                     Int32 thickness)
```

パラメーター

startX

横方向始点(ドット)

有効範囲は、0～2395です。

startY

縦方向始点(ドット)

有効範囲は、0～2395です。

width

幅(ドット)

有効範囲は、4～2400です。

height

高さ(ドット)

有効範囲は、4～2400です。

thickness

線幅(ドット)

有効範囲は、2～40です。

例外

PrinterException

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。

詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明

本メソッドは、スタンダードモードでは実行しないでください。

始点は、**SelectPageMode**の*direction*により設定するページモードの印字方向により変わります。印字方向と始点については、『4.4.3(6) **Direction**』を参照してください。

startX、*startY*、*width*、*height*に、**SelectPageModel**により設定するページモードの印字領域を超える指定をした場合、印字領域を超える部分は描画されません。

注意

本メソッドではプリンタの罫線コマンドを使用し、矩形描画を実現しています。

本メソッドの終了時にはプリンタコマンド「罫線OFFの設定」及び「罫線のクリア」を送信し、プリンタの罫線バッファをクリアしますのでご注意ください。罫線コマンドについては、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

FeedLine

行単位の紙送り

行単位で紙送りをします。

構文

public void **FeedLine**(Int32 *lines*)

パラメーター *lines*

紙送りする行数(行)

有効範囲は、0～255です。

例外

PrinterException

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。

詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明

スタンダードモードでは、指定した行数の紙送りを行います。

プリンタの行バッファ内にデータがある場合には、一行印字した後に紙送りを行います。

ページモードでは、縦方向のデータ展開開始位置を指定した行数分、移動します。

一行の紙送り量(改行量)は、**SetLineSpacing**で設定が可能です。

ドット単位で紙送りをします。

構文 `public void FeedDotLine(Int32 dotLines)`

パラメーター *dotLines*

紙送りするドット数(ドット)

スタンダードモードでは有効範囲は、-48～8192です。

ページモードでは、*dotLines*に0～8192を指定した場合のみ有効です。

-48～-1を指定した場合は無視されます。

例外 **PrinterException**

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。

詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明

スタンダードモードでは、指定したドット数の紙送りを行います。

プリンタの行バッファ内にデータがある場合には、一行印字した後に紙送りを行います。

ページモードでは、縦方向のデータ展開開始位置を指定したドット数分、移動します。

用紙カット位置までの紙送りを行います。

構文 `public void FeedCutPosition()`

例外 **PrinterException**

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。

詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明

スタンダードモードの場合、プリンタに印字データが残っていると、本メソッドは実行されません。印字を全て終わらせてから本メソッドを実行してください。

マーク紙の頭出し、及び頭出し位置の補正を行います。

構文 `public void FeedMarkPosition(Int32 dotLines)`

パラメーター *dotLines*

補正量(ドット)

有効範囲は、-48～255です。

補正を行わない場合、0を指定してください。

例外 **PrinterException**

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。

詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明

スタンダードモードの場合、プリンタに印字データが残っていると、本メソッドは実行されません。印字を全て終わらせてから本メソッドを実行してください。

マーク紙が選択されている場合のみ有効です。

マーク紙の使用方法的詳細は、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

SetLog

ログ出力設定

ログ出力を設定します。

構文 `public void SetLog(Int32 logLevel, LogFileSize logFileSize)`

パラメーター *logLevel*

 ログの出力レベル

 0を指定してください。0を指定した場合、エラーログを出力します。

 0以外は指定しないでください。

logFileSize

 ログファイルの最大サイズ

 利用可能な設定は、『4.4.3(24) LogFileSize』を参照してください。

例外 **PrinterException**

 本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。

 詳細は、『4.4.4(1) PrinterException』を参照してください。

説明 ログファイルは、本ライブラリを組み込んだWinCEアプリケーションが存在するフォルダ下に保存されます。

 ログファイル名: PrinterManager.log.x (xの範囲は、0～4です)

 最初にログファイルはPrinterManager.log.0で作成されます。

 ログファイルの最大サイズを超えた場合、ファイル名をPrinterManager.log.1に変更し、新たにPrinterManager.log.0を作成します。

 作成されるログファイル数は最大5つです。

 本メソッドを実行しない場合、1MBのエラーログを出力します。ログファイルのファイル名や作成数は、前記と同様となります。

- **Public Property**

IsOpened

プリンタの利用状態取得

Openによるプリンタの利用開始状態を取得します。

構文 public Boolean **IsOpened**{get;}

初期値 False

戻り値 True :プリンタの利用が開始されている。
False :プリンタの利用が開始されていない。

説明 本プロパティは読み取り専用のため、値を設定することはできません。

(2) PrinterStatus

• 概要

プリンタステータスを格納するクラスです。

下記の機能を提供します。

Public Methods

名前	説明
GetErrOffline	オフラインエラー状態の取得
GetErrHardware	ハードウェアエラー状態の取得
GetErrVoltage	V _p 電圧エラー状態の取得
GetErrHeadTemperature	ヘッド温度エラー状態の取得
GetErrOutOfPaper	紙無しエラー状態の取得
GetErrMarkPaperJam	マーク検出時紙ジャムエラー状態の取得
GetErrCoverOpen	ペーパーカバーオープンエラー状態の取得
GetErrBattery	バッテリーエラー状態の取得
GetStateFeedSwitch	フィードスイッチ状態の取得
GetStatePaperFeed	紙送り状態の取得
GetStateReturnWaiting	復帰待ち状態の取得
GetStateFlashMemoryRewriting	フラッシュメモリ書き換え状態の取得
GetStateBattery	バッテリー電圧状態の取得

• Public Methods

GetErrOffline オフラインエラー状態の取得

オフラインエラー状態を取得します。

構文 `public Boolean GetErrOffline()`

戻り値 True : オフラインエラー
 False : オンライン

GetErrHardware ハードウェアエラー状態の取得

ハードウェアエラー状態を取得します。

構文 `public Boolean GetErrHardware()`

戻り値 True : エラー
 False : OK

GetErrVoltage

Vp電圧エラー状態の取得

Vp電圧エラー状態を取得します。

構文 public Boolean **GetErrVoltage**()

戻り値 True : エラー

False : OK

GetErrHeadTemperature

ヘッド温度エラー状態の取得

ヘッド温度エラー状態を取得します。

構文 public Boolean **GetErrHeadTemperature**()

戻り値 True : エラー

False : OK

GetErrOutOfPaper

紙無しエラー状態の取得

紙無しエラー状態を取得します。

構文 public Boolean **GetErrOutOfPaper**()

戻り値 True : エラー

False : OK

GetErrMarkPaperJam

マーク検出時紙ジャムエラー状態の取得

説明 マーク検出時紙ジャムエラー状態を取得します。

構文 public Boolean **GetErrMarkPaperJam**()

戻り値 True : エラー

False : OK

GetErrCoverOpen

ペーパーカバーオープンエラー状態の取得

ペーパーカバーオープンエラー状態を取得します。

構文 public Boolean **GetErrCoverOpen**()

戻り値 True : エラー

False : OK

GetErrBattery

バッテリーエラー状態の取得

バッテリーエラー状態を取得します。

構文 public Boolean **GetErrBattery()**

戻り値 True : エラー
 False : OK

GetStateFeedSwitch

フィードスイッチ状態の取得

フィードスイッチ状態を取得します。

構文 public Boolean **GetStateFeedSwitch()**

戻り値 True : ON
 False : OFF

GetStatePaperFeed

紙送り状態の取得

紙送り状態を取得します。

構文 public Boolean **GetStatePaperFeed()**

戻り値 True : 紙送り中
 False : 停止

GetStateReturnWaiting

復帰待ち状態の取得

復帰待ち状態を取得します。

構文 public Boolean **GetStateReturnWaiting()**

戻り値 True : 復帰待ち状態
 False : 復帰待ち状態でない

GetStateFlashMemoryRewriting

フラッシュメモリ書き換え状態の取得

フラッシュメモリ書き換え状態を取得します。

構文 public Boolean **GetStateFlashMemoryRewriting()**

戻り値 True : フラッシュメモリ書き換え中
 False : フラッシュメモリ書き換え中でない

バッテリー電圧状態を取得します。

構文 `public Int32 GetStateBattery()`

戻り値 0: バッテリーなし
 1: バッテリー残量レベル4またはバッテリー残量レベル5（要充電、または残量0%）
 2: バッテリー残量レベル3 （残量目安： 約10%）
 3: バッテリー残量レベル2 （残量目安： 約40%）
 4: バッテリー残量レベル1 （残量目安： 約80%）

(3) PrinterDiscovery

- 概要

プリンタの探索機能を提供するクラスです。

下記の機能を提供します。

Public Methods

名前	説明
PrinterDiscovery	コンストラクタ
StartDiscoveryPrinter	プリンタの探索開始
CancelDiscoveryPrinter	プリンタの探索中断
GetFoundPrinter	発見されたプリンタ情報リストの取得

- Public Methods

PrinterDiscovery	コンストラクタ
-------------------------	----------------

com.seikoinstruments.sdk.mobileprinter.PrinterDiscoveryクラスのコンストラクタです。

構文 public **PrinterDiscovery** ()

例外 **PrinterException**
本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。
詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

StartDiscoveryPrinter	プリンタの探索開始
------------------------------	------------------

プリンタの探索を開始します。

構文 public void **StartDiscoveryPrinter**(DiscoveryHandler *handler*,
 PrinterInterface *prnIf*,
 Int32 *retry*,
 Int32 *timeout*)

パラメーター *handler*
 DiscoveryHandlerのインスタンス

prnIf
 通信インターフェース定数
 利用可能な設定は、『4.4.3(1) **PrinterInterface**』を参照してください。
 PRN_IF_USBはサポートされていません。

retry

リトライ回数(回)

*prnlf*の設定により、動作が異なります。

- ・ **PRN_IF_TCP**の場合

*retry*で設定した回数だけローカルブロードキャストパケットを送信します。

有効範囲は、1～5です。

1未満の値を指定した場合は1として処理されます。

5を超える値を指定した場合は5として処理されます。

- ・ **PRN_IF_BT**の場合

指定した値は無視され、探索は1回のみ行います。

timeout

探索1回のタイムアウト時間(秒)

*prnlf*の設定により、動作が異なります。

- ・ **PRN_IF_TCP**の場合

ローカルブロードキャストパケットの送信毎に、*timeout*で指定した時間が経過するまで、プリンタからの応答を待ちます。

有効範囲は、3～60です。

3未満の値を指定した場合は3として処理されます。

60を超える値を指定した場合は60として処理されます。

- ・ **PRN_IF_BT**の場合

指定した値は無視されます。

例外

PrinterException

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。

詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明

CancelDiscoveryPrinterで中断が可能です。探索を中断、または完了すると、*handler*で指定したインスタンスの**DiscoveryFinished**を実行します。

探索結果は、**GetFoundPrinter**で取得してください。

CancelDiscoveryPrinter

プリンタの探索中断

StartDiscoveryPrinterで開始したプリンタの探索を中断します。

構文

```
public void CancelDiscoveryPrinter()
```

例外

PrinterException

本メソッド呼び出し時にエラーが発生した場合**PrinterException**をスローします。

詳細は、『4.4.4(1) **PrinterException**』を参照してください。

説明

探索を中断すると、**StartDiscoveryPrinter**の*handler*で指定したインスタンスの**DiscoveryFinished**を実行します。

中断時までの探索結果は**GetFoundPrinter**にて取得できます。

StartDiscoveryPrinterで発見された全てのプリンタ情報を取得します。

構文 `public ArrayList<DiscoveredPrinter> GetFoundPrinter()`

戻り値 発見されたプリンタ情報を**DiscoveredPrinter**クラスのArrayListで返します。**DiscoveredPrinter**クラスのメソッドにより、プリンタモデル名、Bluetoothアドレス、IPアドレス、MACアドレス及びシリアルナンバーを取得できます。
DiscoveredPrinterクラスのメソッドは、『4.4.2(4) **DiscoveredPrinter**』を参照してください。

(4) DiscoveredPrinter

- 概要

StartDiscoveryPrinterで発見されたプリンタ情報を格納するクラスです。発見されたプリンタ情報からプリンタモデル名、Bluetoothアドレス、IPアドレス、MACアドレス及びシリアルナンバーを取得できます。

下記の機能を提供します。

Public Methods

名前	説明
GetPrinterModel	プリンタモデル名の取得
GetBluetoothAddress	Bluetoothアドレスの取得
GetIpAddress	IPアドレスの取得
GetMacAddress	MACアドレスの取得
GetSerialNumber	シリアルナンバーの取得

- Public Methods

GetPrinterModel プリンタモデル名の取得

プリンタモデル名の文字列を取得します。

構文 `public String GetPrinterModel()`

戻り値 プリンタモデル名

GetBluetoothAddress Bluetoothアドレスの取得

Bluetoothアドレスの文字列を取得します。

構文 `public String GetBluetoothAddress()`

戻り値 Bluetoothアドレス
Bluetoothアドレスは、"00:11:22:AA:BB:CC"形式の文字列を取得します。

GetIpAddress IPアドレスの取得

IPアドレスの文字列を取得します。

構文 `public String GetIpAddress()`

戻り値 IPアドレス

MACアドレスの文字列を取得します。

構文 `public String GetMacAddress()`

戻り値 MACアドレス

シリアルナンバーの文字列を取得します。

構文 `public String GetSerialNumber()`

戻り値 シリアルナンバー

4.4.3 列挙型

(1) PrinterInterface

Openの通信インターフェース指定で利用する列挙型定数を示します。

名前	説明
PRN_IF_TCP	TCP/IP
PRN_IF_BT	Bluetooth
PRN_IF_USB	USB

(2) PrinterModel

Openのプリンタモデル指定で利用する列挙型定数を示します。

名前	説明
PRN_MODEL_MP_A40	MP-A40

(3) Dithering

RegisterLogo、SendDataFileのディザリングで利用する列挙型定数を示します。

名前	説明
DITHERING_DISABLE	ディザリング無効
DITHERING_ERRORDIFFUSION	ディザリング有効

(4) PrinterInformation

GetPrinterInformation、GetPrinterInformationNumber、GetPrinterInformationStringのプリンタ情報指定で利用する列挙型定数を示します。

取得できるプリンタ情報の詳細は、『MP-A40シリーズ サーマルプリンタ技術説明書』を参照してください。

名前	説明（プリンタ情報）
GET_NV_MEM_CAP	NVグラフィックスメモリ容量
GET_NV_MEM_REM_CAP	NVグラフィックスメモリの残容量
GET_NV_MEM_KEYCODE_LIST	NVグラフィックスのキーコード一覧
GET_REM_USER_MEM_CAP_DEFRAG	ユーザ領域整理後の残り容量
GET_REM_USER_MEM_CAP	ユーザ領域の残り容量
GET_FUNC_SET_RESP	機能設定応答
GET_PRN_ID_MODEL	プリンタIDの送信(機種ID)
GET_PRN_ID_TYPE	プリンタIDの送信(タイプID)
GET_PRN_ID_ROM_VER	プリンタIDの送信(ROMバージョンID)
GET_PRN_ID_FIRM_VER_MAIN	プリンタIDの送信 (ファームウェアバージョン(main))
GET_PRN_ID_MFR	プリンタIDの送信(メーカー名)
GET_PRN_ID_MODEL_NAME	プリンタIDの送信(モデル名)
GET_PRN_ID_FIRM_VER_BOOT	プリンタIDの送信 (ファームウェアバージョン(boot))

名前	説明（プリンタ情報）
GET_PRN_ID_FIRM_CHECKSUM_BOOT	プリンタIDの送信 (ファームウェアチェックサム(boot))
GET_PRN_ID_FIRM_CHECKSUM_MAIN	プリンタIDの送信 (ファームウェアチェックサム(main))
GET_PRN_ID_FIRM_CHECKSUM	プリンタIDの送信 (ファームウェアチェックサム(main+boot))
GET_MAINT_NUM_FEED_LINE	メンテナンスカウンタ (紙送り行数(100ドットライン単位))
GET_MAINT_NUM_HEAD_ACTIVE	メンテナンスカウンタ(サーマルヘッド通電回数 (100ドットライン単位))
GET_MAINT_DRIVE_TIME	メンテナンスカウンタ (製品の駆動時間(分単位))
GET_MAINT_NUM_FEED_LINE_INTEGRATION	メンテナンスカウンタ (紙送り行数(100ドットライン単位)(積算))
GET_MAINT_NUM_HEAD_ACTIVE_INTEGRATION	メンテナンスカウンタ(サーマルヘッド通電回数 (100ドットライン単位)(積算))
GET_MAINT_DRIVE_TIME_INTEGRATION	メンテナンスカウンタ (製品の駆動時間(分単位)(積算))
GET_HFONT_24_CHECKSUM	半角フォントIDの送信 (24ドットフォント、チェックサム)
GET_HFONT_24_ID	半角フォントIDの送信(24ドットフォント、ID)
GET_HFONT_24_INT_CHAR	半角フォントIDの送信 (24ドットフォント、登録済み国際文字)
GET_HFONT_16_CHECKSUM	半角フォントIDの送信 (16ドットフォント、チェックサム)
GET_HFONT_16_ID	半角フォントIDの送信(16ドットフォント、ID)
GET_HFONT_16_INT_CHAR	半角フォントIDの送信 (16ドットフォント、登録済み国際文字)
GET_FFONT_LANG	全角フォントIDの送信(言語名)
GET_FFONT_STANDARD	全角フォントIDの送信(規格名)
GET_FFONT_COMPANY	全角フォントIDの送信(社名)
GET_FFONT_CHECKSUM	全角フォントIDの送信(チェックサム)
GET_FFONT_DATA_SIZE	全角フォントIDの送信(データサイズ)

(5) TransactionFunction

ControlTransactionの一括処理制御方法指定で利用する列挙型定数を示します。

名前	説明
TRANSACTION_CLEAR	一括処理の中止
TRANSACTION_START	一括処理の開始
TRANSACTION_PRINT	一括印字と一括処理の終了

(6) Direction

SelectPageModeの印字方向指定で利用する列挙型定数を示します。

始点が"左上"または"右下"の場合、紙送り方向と垂直方向に印字データを展開します。

始点が"右上"または"左下"の場合、紙送り方向に印字データを展開します。

名前	説明(" " : 初期値)
DIRECTION_LEFT_TO_RIGHT	印字方向: 左→右、始点: 左上(図 4-2 A)
DIRECTION_BOTTOM_TO_TOP	印字方向: 下→上、始点: 左下(図 4-2 B)
DIRECTION_RIGHT_TO_LEFT	印字方向: 右→左、始点: 右下(図 4-2 C)
DIRECTION_TOP_TO_BOTTOM	印字方向: 上→下、始点: 右上(図 4-2 D)

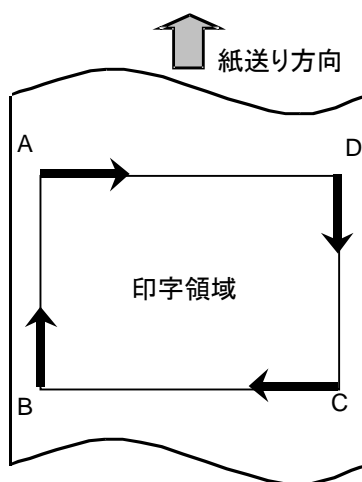


図 4-2

(7) Alignment

SetStandardModeAlignmentの位置揃え指定で利用する列挙型定数を示します。

名前	説明(" " : 初期値)
ALIGN_LEFT	左揃え
ALIGN_CENTER	中央揃え
ALIGN_RIGHT	右揃え

(8) CharacterSet

SelectCharacterSet、及びGetCharacterSetの文字セット選択で利用する列挙型定数を示します。

初期値は、WinCEデバイスの言語設定により下記の通りです。

日本語の場合: **CODEPAGE_KATAKANA**

日本語以外の場合: **CODEPAGE_1252**

名前	説明(" " : 初期値)
CODEPAGE_437	コードページ437(USA, Standard Europe)
CODEPAGE_KATAKANA	カタカナ文字セット
CODEPAGE_850	コードページ850(Multilingual)
CODEPAGE_860	コードページ860(Portuguese)
CODEPAGE_863	コードページ863(Canadian-French)
CODEPAGE_865	コードページ865(Nordic)
CODEPAGE_857	コードページ857(Turkish)
CODEPAGE_737	コードページ737(Greek)
CODEPAGE_1252	コードページ1252(Latin)
CODEPAGE_866	コードページ866(Russian)
CODEPAGE_852	コードページ852(Eastern Europe)
CODEPAGE_858	コードページ858(Euro)
CODEPAGE_855	コードページ855(Cyrillic)
CODEPAGE_864	コードページ864(Arabic)
CODEPAGE_1250	コードページ1250(Central European)
CODEPAGE_1251	コードページ1251(Cyrillic)
CODEPAGE_1253	コードページ1253(Greek)
CODEPAGE_1254	コードページ1254(Turkish)

(9) InternationalCharacterSet

SelectInternationalCharacterSet、及びGetInternationalCharacterの国際文字セット選択で利用する列挙型定数を示します。

初期値は、WinCEデバイスの言語設定により下記の通りです。

日本語の場合: INT_CHAR_SET_JAPAN

日本語以外の場合: INT_CHAR_SET_USA

名前	説明(" " : 初期値)
INT_CHAR_SET_USA	アメリカ
INT_CHAR_SET_FRANCE	フランス
INT_CHAR_SET_GERMANY	ドイツ
INT_CHAR_SET_UNITED_KINGDOM	イギリス
INT_CHAR_SET_DENMARK_1	デンマーク I
INT_CHAR_SET_SWEDEN	スウェーデン
INT_CHAR_SET_ITALY	イタリア
INT_CHAR_SET_SPAIN_1	スペイン I
INT_CHAR_SET_JAPAN	日本
INT_CHAR_SET_NORWAY	ノルウェー
INT_CHAR_SET_DENMARK_2	デンマーク II
INT_CHAR_SET_SPAIN_2	スペイン II
INT_CHAR_SET_LATIN_AMERICA	ラテンアメリカ
INT_CHAR_SET_ARABIA	アラビア

(10) CharacterType

SetCharacterFormattingの文字フォント指定で利用する列挙型定数を示します。

名前	説明(" " : 初期値)
CHAR_TYPE_FONT_CURRENT ^{*1}	現在の設定 (設定するプリンタコマンドの送信なし)
CHAR_TYPE_FONT_A	フォントA(24×12)・漢字フォントA(24×24)
CHAR_TYPE_FONT_B ^{*1}	フォントB(16×8)・漢字フォントB(16×16)

*1: SelectCharacterSetでCODEPAGE_864を選択した場合、SetCharacterFormattingの文字フォント指定に関わらず、フォントA(24×12)で印字します。

(11) CharacterScale

SetCharacterFormattingの文字サイズ指定で利用する列挙型定数を示します。

名前	説明(" " : 初期値)
CHAR_SCALE_CURRENT	現在の設定(設定するプリンタコマンドの送信なし)
CHAR_SCALE_X1	1倍
CHAR_SCALE_X2	2倍
CHAR_SCALE_X3	3倍
CHAR_SCALE_X4	4倍
CHAR_SCALE_X5	5倍
CHAR_SCALE_X6	6倍
CHAR_SCALE_X7	7倍
CHAR_SCALE_X8	8倍

(12) Underline

SetCharacterFormattingのアンダーライン指定で利用する列挙型定数を示します。

名前	説明(" " : 初期値)
CHAR_UNDERLINE_CURRENT	現在の設定(設定するプリンタコマンドの送信なし)
CHAR_UNDERLINE_NONE	アンダーラインなし
CHAR_UNDERLINE_1DOT	1ドット幅のアンダーラインあり
CHAR_UNDERLINE_2DOT	2ドット幅のアンダーラインあり

(13) Bold

SetCharacterFormattingの強調印字指定で利用する列挙型定数を示します。

名前	説明(" " : 初期値)
CHAR_BOLD_CURRENT	現在の設定(設定するプリンタコマンドの送信なし)
CHAR_BOLD_OFF	強調印字なし
CHAR_BOLD_ON	強調印字あり

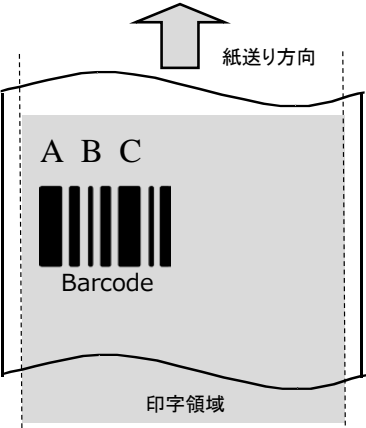
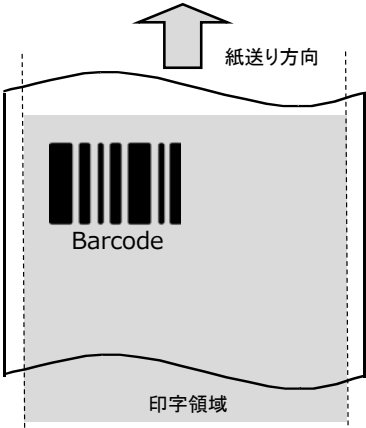
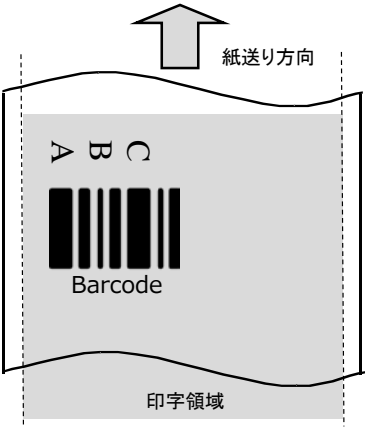
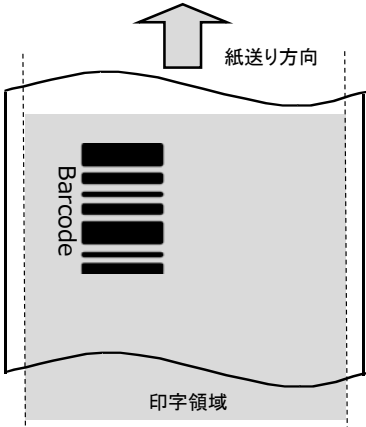
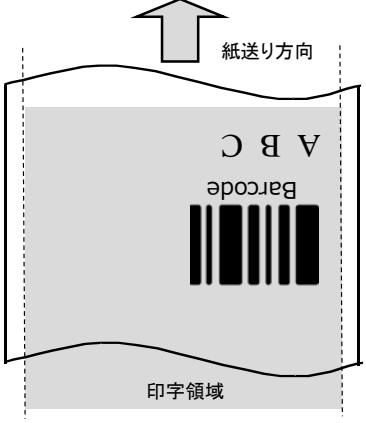
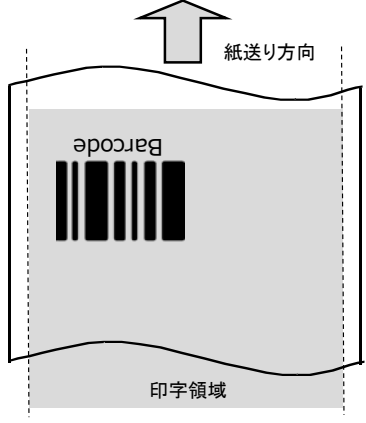
(14) Reverse

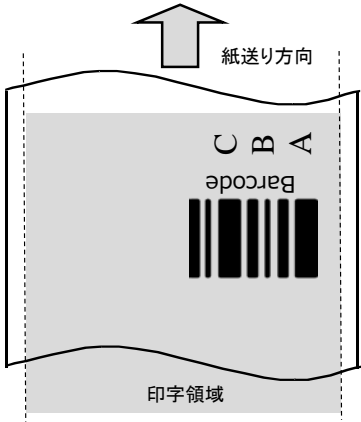
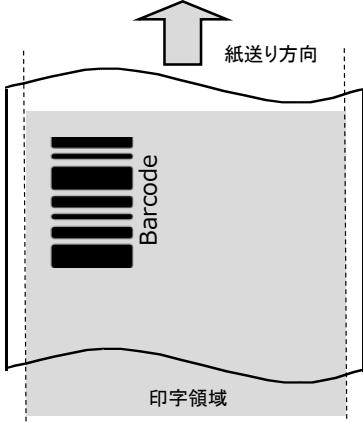
SetCharacterFormattingの白黒反転印字指定で利用する列挙型定数を示します。

名前	説明(" " : 初期値)
CHAR_REVERSE_CURRENT	現在の設定(設定するプリンタコマンドの送信なし)
CHAR_REVERSE_OFF	白黒反転印字なし
CHAR_REVERSE_ON	白黒反転印字あり

(15) Rotate

SetStandardModeBarcodeDirectionの印字方向指定、SetCharacterFormattingの回転印字指定で利用する
列挙型定数を示します。文字、バーコード及び2次元バーコードの印字位置と向きを下記に示します。

名前	説明(" " : 初期値)	
	SetCharacterFormatting	SetStandardModeBarcodeDirection
ROTATE_CURRENT	現在の設定(設定するプリンタコマンドの送信なし)	
ROTATE_NONE	回転なし 	回転なし 
ROTATE_90_TO_RIGHT		
ROTATE_180		

名前	説明(" " : 初期値)	
	SetCharacterFormatting	SetStandardModeBarcodeDirection
ROTATE_90_TO_LEFT		

(16) TypeBarcode

PrintBarcodeのバーコードの種類指定で利用する列挙型定数を示します。

名前	説明	
TYPE_BARCODE_UPC_A	UPC-A	マルチレベルバーコード
TYPE_BARCODE_UPC_E	UPC-E	マルチレベルバーコード
TYPE_BARCODE_JAN13	JAN13(EAN13)	マルチレベルバーコード
TYPE_BARCODE_JAN8	JAN8(EAN8)	マルチレベルバーコード
TYPE_BARCODE_CODE39	CODE39	2値レベルバーコード
TYPE_BARCODE_ITF	ITF	2値レベルバーコード
TYPE_BARCODE_CODABAR	CODABAR	2値レベルバーコード
TYPE_BARCODE_CODE128	CODE128	マルチレベルバーコード
TYPE_BARCODE_CODE93	CODE93	マルチレベルバーコード
TYPE_BARCODE_JAN13_ADDON2	JAN13アドオン2	マルチレベルバーコード
TYPE_BARCODE_JAN13_ADDON5	JAN13アドオン5	マルチレベルバーコード
TYPE_BARCODE_GS1_OMNI_DIRECTIONAL	GS1 Databar Omni-directional	2値レベルバーコード
TYPE_BARCODE_GS1_TRUNCATED	GS1 Databar Truncated	2値レベルバーコード
TYPE_BARCODE_GS1_LIMITED	GS1 Databar Limited	2値レベルバーコード
TYPE_BARCODE_GS1_EXPANDED	GS1 Databar Expanded	2値レベルバーコード

(17) ModuleWidthBarcode

PrintBarcodeのバーコードのマルチレベルバーコードにおけるモジュール幅または2値レベルバーコードにおける細エレメント指定で利用する列挙型定数を示します。

名前	説明
MODULE_WIDTH_BARCODE_2	2ドット
MODULE_WIDTH_BARCODE_3	3ドット
MODULE_WIDTH_BARCODE_4	4ドット
MODULE_WIDTH_BARCODE_5	5ドット
MODULE_WIDTH_BARCODE_6	6ドット

(18) HriPositionBarcode

PrintBarcodeのバーコードのHRI文字指定で利用する列挙型定数を示します。

名前	説明
HRI_BARCODE_NONE	HRI文字なし
HRI_BARCODE_TOP_FONT_A	バーコードの上(フォントA)
HRI_BARCODE_BOTTOM_FONT_A	バーコードの下(フォントA)
HRI_BARCODE_FONT_A	バーコードの上下(フォントA)
HRI_BARCODE_TOP_FONT_B	バーコードの上(フォントB)
HRI_BARCODE_BOTTOM_FONT_B	バーコードの下(フォントB)
HRI_BARCODE_FONT_B	バーコードの上下(フォントB)

(19) NwRatioBarcode

PrintBarcodeの2値レベルバーコードのN:W比指定で利用する列挙型定数を示します。

名前	説明
NWRATIO_BARCODE_1TO2	1:2
NWRATIO_BARCODE_1TO2_5	1:2.5
NWRATIO_BARCODE_1TO3	1:3

(20) Type2Dcode

Print2Dcodeの2次元バーコードの種類指定で利用する列挙型定数を示します。

名前	説明
TYPE_2DCODE_QR_CODE	QRコード
TYPE_2DCODE_PDF417	PDF417
TYPE_2DCODE_DATA_MATRIX	Data Matrix
TYPE_2DCODE_MAXI_CODE	MaxiCode
TYPE_2DCODE_GS1_STACKED	GS1 Databar Stacked
TYPE_2DCODE_GS1_OMNI_DIRECTIONAL	GS1 Databar Stacked Omni-directional
TYPE_2DCODE_GS1_EXPANDED_STACKED	GS1 Databar Expanded Stacked

(21) Mode2Dcode

Print2Dcodeの2次元バーコードのモードで利用する列挙型定数を示します。

名前	説明	
MODE_2DCODE_QR_CODE_MODEL1	QRコード	Model1
MODE_2DCODE_QR_CODE_MODEL2	QRコード	Model2
MODE_2DCODE_PDF417_STANDARD	PDF417	通常モード
MODE_2DCODE_PDF417_COMPACT	PDF417	簡易モード
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_AUTO	Data Matrix	モジュール数自動
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_10_10	Data Matrix	モジュール数 10×10
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_12_12	Data Matrix	モジュール数 12×12
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_14_14	Data Matrix	モジュール数 14×14
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_16_16	Data Matrix	モジュール数 16×16
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_18_18	Data Matrix	モジュール数 18×18
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_20_20	Data Matrix	モジュール数 20×20
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_22_22	Data Matrix	モジュール数 22×22
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_24_24	Data Matrix	モジュール数 24×24
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_26_26	Data Matrix	モジュール数 26×26
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_32_32	Data Matrix	モジュール数 32×32
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_36_36	Data Matrix	モジュール数 36×36
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_40_40	Data Matrix	モジュール数 40×40
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_44_44	Data Matrix	モジュール数 44×44
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_48_48	Data Matrix	モジュール数 48×48
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_52_52	Data Matrix	モジュール数 52×52
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_64_64	Data Matrix	モジュール数 64×64
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_72_72	Data Matrix	モジュール数 72×72
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_80_80	Data Matrix	モジュール数 80×80
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_88_88	Data Matrix	モジュール数 88×88
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_96_96	Data Matrix	モジュール数 96×96
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_104_104	Data Matrix	モジュール数 104×104
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_120_120	Data Matrix	モジュール数 120×120
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_132_132	Data Matrix	モジュール数 132×132
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_144_144	Data Matrix	モジュール数 144×144
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_8_18	Data Matrix	モジュール数 8×18
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_8_32	Data Matrix	モジュール数 8×32
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_12_26	Data Matrix	モジュール数 12×26
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_12_36	Data Matrix	モジュール数 12×36
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_16_36	Data Matrix	モジュール数 16×36
MODE_2DCODE_DATA_MATRIX_16_48	Data Matrix	モジュール数 16×48
MODE_2DCODE_MAXI_CODE_2	MaxiCode	Mode2
MODE_2DCODE_MAXI_CODE_3	MaxiCode	Mode3
MODE_2DCODE_MAXI_CODE_4	MaxiCode	Mode4
MODE_2DCODE_MAXI_CODE_5	MaxiCode	Mode5

名前	説明	
MODE_2DCODE_NONE	GS1 Databar Stacked GS1 Databar Stacked Omni-directional GS1 Databar Expanded Stacked	設定なし

(22) ModuleSize2Dcode

Print2Dcodeの2次元バーコードのモジュールサイズ指定で利用する列挙型定数を示します。

名前	説明	
MODULE_SIZE_2DCODE_DEFAULT	QRコード	初期値 (6ドット)
	PDF417	初期値 (4ドット)
	Data Matrix	初期値 (6ドット)
	MaxiCode	設定なし
	GS1 Databar Stacked	初期値 (6ドット)
	GS1 Databar Stacked Omni-directional	初期値 (6ドット)
	GS1 Databar Expanded Stacked	初期値 (6ドット)
MODULE_SIZE_2DCODE_2	QRコード	2ドット
	PDF417	
	Data Matrix	
	GS1 Databar Stacked	
	GS1 Databar Stacked Omni-directional	
	GS1 Databar Expanded Stacked	
MODULE_SIZE_2DCODE_3	QRコード	3ドット
	PDF417	
	Data Matrix	
	GS1 Databar Stacked	
	GS1 Databar Stacked Omni-directional	
	GS1 Databar Expanded Stacked	
MODULE_SIZE_2DCODE_4	QRコード	4ドット
	Data Matrix	
	GS1 Databar Stacked	
	GS1 Databar Stacked Omni-directional	
	GS1 Databar Expanded Stacked	
MODULE_SIZE_2DCODE_5	QRコード	5ドット
	Data Matrix	
	GS1 Databar Stacked	
	GS1 Databar Stacked Omni-directional	
	GS1 Databar Expanded Stacked	

名前	説明	
MODULE_SIZE_2DCODE_6	QRコード	6ドット
	Data Matrix	
	GS1 Databar Stacked	
	GS1 Databar Stacked Omni-directional	
	GS1 Databar Expanded Stacked	
MODULE_SIZE_2DCODE_7	QRコード	7ドット
	Data Matrix	
	GS1 Databar Stacked	
	GS1 Databar Stacked Omni-directional	
	GS1 Databar Expanded Stacked	
MODULE_SIZE_2DCODE_8	QRコード	8ドット
	Data Matrix	
	GS1 Databar Stacked	
	GS1 Databar Stacked Omni-directional	
	GS1 Databar Expanded Stacked	
MODULE_SIZE_2DCODE_9	QRコード	9ドット
	Data Matrix	
	GS1 Databar Stacked	
	GS1 Databar Stacked Omni-directional	
	GS1 Databar Expanded Stacked	
MODULE_SIZE_2DCODE_10	QRコード	10ドット
	Data Matrix	
	GS1 Databar Stacked	
	GS1 Databar Stacked Omni-directional	
	GS1 Databar Expanded Stacked	
MODULE_SIZE_2DCODE_11	QRコード	11ドット
	Data Matrix	
	GS1 Databar Stacked	
	GS1 Databar Stacked Omni-directional	
	GS1 Databar Expanded Stacked	
MODULE_SIZE_2DCODE_12	QRコード	12ドット
	Data Matrix	
	GS1 Databar Stacked	
	GS1 Databar Stacked Omni-directional	
	GS1 Databar Expanded Stacked	
MODULE_SIZE_2DCODE_13	QRコード	13ドット
	Data Matrix	
	GS1 Databar Stacked	
	GS1 Databar Stacked Omni-directional	
	GS1 Databar Expanded Stacked	

名前	説明	
MODULE_SIZE_2DCODE_14	QRコード	14ドット
	Data Matrix	
	GS1 Databar Stacked	
	GS1 Databar Stacked Omni-directional	
	GS1 Databar Expanded Stacked	
MODULE_SIZE_2DCODE_15	QRコード	15ドット
	Data Matrix	
	GS1 Databar Stacked	
	GS1 Databar Stacked Omni-directional	
	GS1 Databar Expanded Stacked	
MODULE_SIZE_2DCODE_16	QRコード	16ドット
	Data Matrix	
	GS1 Databar Stacked	
	GS1 Databar Stacked Omni-directional	
	GS1 Databar Expanded Stacked	

(23) ErrorCorrect2Dcode

Print2Dcodeの2次元バーコードのエラー訂正レベル指定で利用する列挙型定数を示します。

名前	説明	
ERR_CORRECTION_2DCODE_QR_CODE_L	QRコード	L
ERR_CORRECTION_2DCODE_QR_CODE_M	QRコード	M
ERR_CORRECTION_2DCODE_QR_CODE_Q	QRコード	Q
ERR_CORRECTION_2DCODE_QR_CODE_H	QRコード	H
ERR_CORRECTION_2DCODE_PDF417_0	PDF417	0
ERR_CORRECTION_2DCODE_PDF417_1	PDF417	1
ERR_CORRECTION_2DCODE_PDF417_2	PDF417	2
ERR_CORRECTION_2DCODE_PDF417_3	PDF417	3
ERR_CORRECTION_2DCODE_PDF417_4	PDF417	4
ERR_CORRECTION_2DCODE_PDF417_5	PDF417	5
ERR_CORRECTION_2DCODE_PDF417_6	PDF417	6
ERR_CORRECTION_2DCODE_PDF417_7	PDF417	7
ERR_CORRECTION_2DCODE_PDF417_8	PDF417	8
ERR_CORRECTION_2DCODE_NONE	Data Matrix MaxiCode GS1 Databar Stacked GS1 Databar Stacked Omni-directional GS1 Databar Expanded Stacked	設定なし

(24) LogFileSize

SetLogのログファイルの最大サイズ指定で利用する列挙型定数を示します。

名前	説明(" " : 初期値)
LOG_FILE_SIZE_1MB	1 MB (1048576バイト)
LOG_FILE_SIZE_5MB	5 MB (5242880バイト)
LOG_FILE_SIZE_10MB	10 MB (10485760バイト)
LOG_FILE_SIZE_50MB	50 MB (52428800バイト)

(25) ErrorCode

GetErrorCodeで取得するエラー内容を示す列挙型定数を示します。

名前	説明
ERR_PARAM	パラメーターが不正です。
ERR_OPENED	指定したプリンタはすでにオープン済みです。
ERR_NOT_OPENED	指定したプリンタはオープンされていません。
ERR_TIMEOUT	タイムアウト、またはビジー状態です。
ERR_OFFLINE	切断状態またはプリンタがオフラインです。
ERR_CLOSE_FAIL	プリンタの切断に失敗しました。
ERR_NOT_MONITORING	接続状態が監視されていません。
ERR_INIT_FAILED	初期化に失敗しました。
ERR_DATA_SIZE_ZERO	データサイズが0バイトのデータが指定されました。
ERR_OVER_MAX_DATA_SIZE	データサイズが最大値を超過しています。
ERR_INVALID_DATA	不正なデータが指定されています。
ERR_INVALID_STATE	コールバックにPrinterManagerオブジェクトへのアクセスが指定されました。
ERR_ACCESS	プリンタにアクセスできません。
ERR_CANCELED	機能が取り消されました。
ERR_WRITE_FAULT	プリンタにデータを送信できません。
ERR_WORKAREA_NO_MEMORY	メモリの領域指定が不足しています。
ERR_FILE_INVALID	指定されたファイルは無効です。
ERR_ENCODE_FAILED	テキストデータのエンコードでエラーが発生しました。
ERR_NOT_FOUND	指定したファイルが見つかりません。
ERR_TRANSACTION_STOPPED	一括処理が開始されていません。
ERR_PRINTER_STATUS_ERROR	プリンタステータスが正常ではありません。

4.4.4 例外

(1) PrinterException

- 概要

PrinterExceptionクラスは、例外状況が発生したことを示すクラスです。
下記の機能を提供します。

Public Methods

名前	説明
GetErrorCode	エラーコードの取得

- Public Methods

GetErrorCode	エラーコードの取得
---------------------	------------------

スローされた例外のエラーコードを取得します。

構文 `public ErrorCode GetErrorCode()`

戻り値 エラーコード

説明 エラー内容詳細は、『4.4.3(25) **ErrorCode**』を参照してください。

5章 サンプルプログラム

本章では、本SDKで提供するサンプルプログラムについて説明します。

5.1 サンプルプログラムの概要

本SDKでは、サンプルプログラムとしてCABファイル及びMicrosoft Visual Studio C# 2008のプロジェクト形式のプログラムを提供します。

5.2 サンプルプログラムの利用方法

(1) CAB ファイルの利用方法

- (a) [CD-ROM ドライブ]:¥WindowsCE¥Sample¥cabフォルダ下にあるCABファイルをWinCEデバイス上の適切なフォルダにコピーしてください。
- (b) ファイルエクスプローラからCABファイルを実行してください。
- (c) WinCEデバイスの[プログラム]からサンプルプログラムを実行してください。

(2) プロジェクト形式プログラムの利用方法

WinCEアプリケーションの開発環境が整っていることを確認してください。必要な開発環境については、『3章 本ライブラリの利用方法』を参照してください。

- (a) [CD-ROM ドライブ]:¥WindowsCE¥Sample¥sourceフォルダをローカルコンピュータにコピーしてください。
- (b) ファイルエクスプローラからコピーしたsourceフォルダにあるSLNファイルを実行してください。

5.3 サンプルプログラム UI画面の概要

『5.2(1) CABファイルの利用方法』でインストールしたサンプルプログラムのUI画面概要を下記に説明します。



項目	説明
Connection Type	プリンタへの接続種別を選択します。
Printer Model	プリンタのモデルを選択します。
Address	プリンタのアドレスを指定します。 手動入力の場合： Bluetoothアドレスを入力してください。 自動入力の場合： [List]をタップすると、プリンタの探索が開始されます。 表示された一覧の中からプリンタを選択すると、選択したプリンタのアドレスが自動入力されます。
各種機能	各種機能を実行できるボタンです。 スクロールすると、表示されないメソッド及びプロパティを見ることができます。メソッド及びプロパティの詳細については、「4章 本ライブラリの機能」を参照してください。

5.4 注意事項

サンプルプログラムは予告なしに変更される場合があります。

サンプルプログラムに対しての動作保証及びサポートは行っておりません。

6章 免責

本ソフトウェアは不具合の発生のないよう十分留意して開発しておりますが、万一、本ソフトウェアによってお客様に損害を及ぼした場合、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

付録 A 文字セット（文字コード表）

A.1 文字コード表（文字コードテーブル）

国際文字設定でINT_CHAR_SET_USA設定時のコードページを下記に示します。
設定する国際文字セットにより、特定の文字コードの印字結果が異なります。
特定の文字コードについては「A.2 国際文字セット」を参照してください。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20		!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80	Ç	ü	é	â	ä	à	å	ç	ê	ë	è	ï	î	ì	Ä	Å
90	É	æ	Æ	ô	ö	ò	û	ù	ÿ	Ö	Ü	φ	£	¥	ℙ	ƒ
A0	á	í	ó	ú	ñ	Ñ	ä	ö	ï	¬	½	¼	¿	«	»	
B0	☐	☐	☐													
C0	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞
D0	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞	⌞
E0	α	β	Γ	π	Σ	σ	μ	τ	φ	θ	Ω	δ	∞	φ	ε	Π
F0	≡	±	≥	≤	∫	∫	÷	≈	°	•	•	√	n	2	■	

表 A-1 CODEPAGE_437 (USA, Standard Europe)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80																
90																
A0	。	「	」	、	・	ヲ	ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ッ	
B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	ゝ	。
E0																
F0																

表 A-2 CODEPAGE_KATAKANA

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80	Ç	ü	é	â	ä	à	å	ç	ê	ë	è	ï	î	ì	Ä	Å
90	É	æ	Æ	ô	ö	ò	û	ù	ÿ	Ö	Ü	ø	£	Ø	×	f
A0	á	í	ó	ú	ñ	Ñ	ä	ö	¿	®	¬	½	¼	¡	«	»
B0	☐	☐	☐			Á	Â	À	©	¶	¶	¶	¶	¢	¥	₱
C0	Ł	Ł	Ł	Ł	Ł	Ł	Ł	Ł	Ł	Ł	Ł	Ł	Ł	Ł	Ł	Ł
D0	Š	Š	Š	Š	Š	Š	Š	Š	Š	Š	Š	Š	Š	Š	Š	Š
E0	Ó	Ô	Õ	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö
F0	-	±	=	¾	¶	§	÷	,	°	..	.	1	3	2	■	

表 A-3 CODEPAGE_850 (Multilingual)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	!	”	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80	Ç	ü	é	â	ã	à	Á	ç	ê	Ê	è	Í	ô	ì	Ã	Â
90	É	À	È	ô	õ	ò	Ú	ù	Ì	Õ	Ü	¢	£	Ù	Þ	Ó
A0	á	í	ó	ú	ñ	Ñ	ä	ö	ï	ò	¬	½	¼	¡	«	»
B0	☐	☐	☐		†	‡		π	¶			¶	¶	¶	¶	¶
C0	L	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥
D0	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥
E0	α	β	Γ	π	Σ	σ	μ	τ	φ	θ	Ω	δ	∞	φ	ε	Π
F0	≡	±	≥	≤	∫	∫	÷	≈	°	•	•	√	n	2	■	

表 A-4 CODEPAGE_860 (Portuguese)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	!	”	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80	Ç	ü	é	â	Â	à	¶	ç	ê	ë	è	ï	î	≡	À	§
90	É	È	Ê	ô	Ë	Ï	Ô	ù	æ	ô	Ü	¢	£	Ù	û	f
A0		'	ó	ú	..	³	-	î	¬	¬	½	¼	¾	«	»	
B0	☐	☐	☐		†	‡		π	¶			¶	¶	¶	¶	¶
C0	L	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥
D0	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥	⊥
E0	α	β	Γ	π	Σ	σ	μ	τ	φ	θ	Ω	δ	∞	φ	ε	Π
F0	≡	±	≥	≤	∫	∫	÷	≈	°	•	•	√	n	2	■	

表 A-5 CODEPAGE_863 (Canadian-French)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80	Ç	ü	é	â	ä	à	å	ç	ê	ë	è	ï	î	ì	Ä	Å
90	É	æ	Æ	ô	ö	ò	û	ù	ÿ	Ö	Ü	ø	£	Ø	Pt	f
A0	á	í	ó	ú	ñ	Ñ	ä	ö	¿	¬	½	¼	¡	«	»	
B0	▒	▒	▒													
C0	L	L	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
D0	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌
E0	α	β	Γ	π	Σ	σ	μ	τ	φ	θ	Ω	δ	∞	φ	ε	Π
F0	≡	±	≥	≤		J	÷	≈	°	•	•	√	n	2	■	

表 A-6 CODEPAGE_865 (Nordic)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80	Ç	ü	é	â	ä	à	å	ç	ê	ë	è	ï	î	ì	Ä	Å
90	É	æ	Æ	ô	ö	ò	û	ù	ÿ	Ö	Ü	ø	£	Ø	Ş	ş
A0	á	í	ó	ú	ñ	Ñ	Ğ	ğ	¿	®	¬	½	¼	¡	«	»
B0	▒	▒	▒			Á	Â	À	©							
C0	L	L	T	T	T	ã	Ã	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌
D0	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌	⌌
E0	ó	β	ô	ò	õ	Õ	μ	×	ú	û	ü	ì	ÿ	-	'	
F0	-	±	¾	¶	§	÷	,	°	..	•	1	3	2	■		

表 A-7 CODEPAGE_857 (Turkish)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π
90	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ
A0	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	ς	τ	υ	φ	χ	ψ
B0	⌘	⌘	⌘													
C0	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘
D0	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘	⌘
E0	ω	ά	έ	ή	ϊ	ί	ό	ύ	ϋ	ώ	Ά	Έ	Ή	Ί	Ό	Υ
F0	Ω	±	≥	≤	İ	ÿ	÷	≈	°	•	•	√	n	²	■	

表 A-8 CODEPAGE_737 (Greek)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80	€	‚	ƒ	„	…	†	‡	^	‰	Š	‹	Œ		Ž		
90	‘	’	“	”	•	-	-	~	™	š	›	œ		ž	ÿ	
A0	ı	ϕ	£	¤	¥	¦	§	¨	©	ª	«	¬	®	¯		
B0	°	±	²	³	´	µ	¶	·	¸	¹	º	»	¼	½	¾	¿
C0	À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î	Ï
D0	Ð	Ñ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	×	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	Ý	Þ	ß
E0	à	á	â	ã	ä	å	æ	ç	è	é	ê	ë	ì	í	î	ï
F0	ð	ñ	ò	ó	ô	õ	ö	÷	ø	ù	ú	û	ü	ý	þ	ÿ

表 A-9 CODEPAGE_1252 (Latin)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80	А	Б	В	Г	Д	Е	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П
90	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я
A0	а	б	в	г	д	е	ж	з	и	й	к	л	м	н	о	п
B0	␣	␣	␣													
C0	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣
D0	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣
E0	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я
F0	Ё	ё	Є	є	İ	ı	Ÿ	ÿ	°	•	•	√	№	α	■	

表 A-10 CODEPAGE_866 (Russian)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80	Ç	ü	é	â	ä	û	ç	ı	ë	Ö	ö	î	ž	Ä	Ć	
90	É	Í	í	ô	ö	Ĺ	ĺ	Š	š	Ö	Ü	ř	ť	Ł	×	č
A0	á	í	ó	ú	Ą	ą	Ž	ž	Ę	ę	¬	ž	Č	š	«	»
B0	␣	␣	␣			Á	Â	Ě	Š					Ž	ž	ı
C0	␣	␣	␣	␣	␣	Ā	ā	Ľ	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣
D0	đ	Đ	Ď	Ě	ď	Ň	í	î	ě	ı	ı	ı	ı	ı	ı	ı
E0	ó	ß	ô	ń	ň	š	š	ř	ú	ř	ú	ý	ý	ı	ı	ı
F0	-	"	˘	˘	˘	Š	÷	˘	˘	˘	˘	Ů	Ř	ř	ı	ı

表 A-11 CODEPAGE_852 (Eastern Europe)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80	Ç	ü	é	â	ä	à	å	ç	ê	ë	è	ï	î	ì	Ä	Å
90	É	æ	Æ	ô	ö	ò	û	ü	Ö	Ü	ø	£	Ø	×	ƒ	
A0	á	í	ó	ú	ñ	Ñ	ä	ö	¿	®	¬	½	¼	¡	«	»
B0	☐	☐	☐			Á	Â	À	©	¶		¶	¶	¢	¥	₱
C0	L	L	T		+	+	ã	Ã	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	α
D0	ð	Ð	Ê	Ë	È	€	Í	Î	Ï	Ј	Г	■	■	И	И	■
E0	ó	В	Ô	Ò	Õ	μ	þ	þ	Ú	Û	Ü	ý	Ý	-	'	
F0	-	±	=	¾	¶	§	÷	,	°	..	.	1	3	2	■	

表 A-12 CODEPAGE_858 (Euro)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80	ђ	Ђ	ѓ	Ѓ	ђ	Ђ	ё	Є	Є	ѕ	Ѕ	і	І	ї	Ї	Ј
90	љ	Љ	њ	Њ	ћ	Ћ	ќ	Ќ	џ	Џ	џ	џ	џ	џ	џ	џ
A0	а	А	б	Б	в	В	г	Г	д	Д	е	Е	ф	Ф	г	Г
B0	☐	☐	☐			x	X	и	И	¶		¶	¶	й	Й	₱
C0	L	L	T		+	+	к	К	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	α
D0	л	Л	м	М	н	Н	о	О	п	Ј	Г	■	■	П	Я	■
E0	Я	р	Р	с	С	т	Т	у	У	ж	Ж	в	В	ь	Ь	№
F0	-	ы	Ы	э	Э	ш	Ш	э	Э	щ	Щ	ч	Ч	§	■	

表 A-13 CODEPAGE_855 (Cyrillic)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80	°	•	√	☼	-		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
90	β	∞	φ	±	½	¼	≈	«	»	لأ	لأ					لا
A0	-	ĩ	£	¤	£	€	ل	ب	ث	ث	،	ج	ح	خ	خ	خ
B0	•	۱	۲	۳	۴	۵	۶	۷	۸	۹	ف	؛	س	ش	ص	؟
C0	¢	ء	آ	أ	ؤ	ع	ئ	ب	ا	ة	ث	ج	ح	د	د	د
D0	ذ	ر	ز	س	ش	ص	ض	ط	ظ	ع	ا	÷	×	ع	ع	ع
E0	-	ف	ق	ك	ل	م	ن	ه	و	ي	ض	ي	غ	غ	غ	م
F0	-	"	ن	ه	ه	ي	ي	ق	ق	ل	ل	ل	ل	ل	ل	■

表 A-14 CODEPAGE_864 (Arabic)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80	€	;	„	„	...	†	†	‰	š	<	š	ť	ž	ž	ž	ž
90	˘	˘	˘	˘	˘	˘	˘	™	š	>	š	ť	ž	ž	ž	ž
A0	˘	˘	˘	˘	˘	˘	˘	˘	˘	˘	˘	˘	˘	˘	˘	˘
B0	°	±	ı	ı	μ	¶	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
C0	ř	á	â	ä	ä	í	ć	ç	č	é	ē	ě	ě	í	î	ď
D0	đ	ñ	ň	ó	ô	ö	÷	ř	ů	ú	ú	ü	ý	ı	ı	ı
E0	ř	á	â	ä	ä	í	ć	ç	č	é	ē	ě	ě	í	î	ď
F0	đ	ñ	ň	ó	ô	ö	÷	ř	ů	ú	ú	ü	ý	ı	ı	ı

表 A-15 CODEPAGE_1250 (Central European)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80	ъ	ѓ	;	ѓ	”	...	†	‡	€	‰	Љ	<	Њ	ќ	ћ	џ
90	ђ	‘	;	“	”	•	-	-	™	љ	>	њ	ќ	ћ	џ	
A0	ѣ	ѝ	Ј	Ѡ	Г	І	Ѕ	Ё	Є	«	¬	-	®	İ		
B0	°	±	І	і	г	μ	¶	•	ё	№	є	»	ј	Ѕ	ѕ	ї
C0	А	Б	В	Г	Д	Е	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П
D0	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я
E0	а	б	в	г	д	е	ж	з	и	й	к	л	м	н	о	п
F0	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я

表 A-16 CODEPAGE_1251 (Cyrillic)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80	€	‘	;	ƒ	”	...	†	‡	‰	<						
90	‚	‘	;	“	”	•	-	-	™	>						
A0	“	À	£	¤	¥	¦	§	¨	©	ª	«	¬	-	®	¯	
B0	°	±	²	³	´	μ	¶	·	¸	¹	º	»	¼	½	¾	
C0	ı	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
D0	Π	Ρ		Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	İ	ÿ	ά	έ	ή	ί
E0	ΐ	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
F0	π	ρ	ς	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω	ï	ÿ	ό	ύ	ώ	

表 A-17 CODEPAGE_1253 (Greek)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80	€	‘	‚	ƒ	„	…	†	‡	^	‰	Š	<	Œ			
90		‚	‚	“	”	•	-	-	~	™	š	>	œ			ÿ
A0		ı	¢	£	¤	¥	¦	§	¨	©	ª	«	¬	®	¯	
B0	°	±	²	³	´	µ	¶	·	¸	¹	º	»	¼	½	¾	¿
C0	À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î	Ï
D0	Ğ	Ñ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	×	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	İ	Ş	ß
E0	à	á	â	ã	ä	å	æ	ç	è	é	ê	ë	ì	í	î	ï
F0	ğ	ñ	ò	ó	ô	õ	ö	÷	ø	ù	ú	û	ü	ı	ş	ÿ

表 A-18 CODEPAGE_1254 (Turkish)

A.2 国際文字セット

設定する国際文字セットにより、特定の文字コードの印字結果が異なります。
 特定の文字コードおよびその印字結果を下記に示します。

	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
COUNTRY_USA	#	\$	@	[\]	^	`	{		}	~
COUNTRY_FRANCE	#	\$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	..
COUNTRY_GERMANY	#	\$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
COUNTRY_ENGLAND	£	\$	@	[\]	^	`	{		}	~
COUNTRY_DENMARK_1	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
COUNTRY_SWEDEN	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
COUNTRY_ITALY	#	\$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
COUNTRY_SPAIN	¢	\$	@	¡	Ñ	¿	^	`	..	ñ	}	~
COUNTRY_JAPAN	#	\$	@	[¥]	^	`	{		}	~
COUNTRY_NORWAY	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
COUNTRY_DENMARK_2	#	\$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
COUNTRY_SPAIN_2	#	\$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
COUNTRY_LATIN_AMERICA	#	\$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú
COUNTRY_ARABIA	#	\$	@	[\]	^	`	{		}	~

表 A-19 国際文字セット



セイコーインスツル株式会社

プリントシステム事業部

千葉県千葉市美浜区中瀬 1-8 〒261-8507

電話番号：043-211-1212（直通） ファクシミリ：043-211-8037

ホームページ：<https://www.sii-ps.com>

大阪営業所

大阪府大阪市北区豊崎 3-2-1 淀川 5 番館 〒531-0072

電話番号：06-7711-0858（直通） ファクシミリ：06-7711-0856

©本書の内容は、製品の改良に伴い、予告なしに変更することがあります。
